吉川吉郎兵衛　八代德太郎　森下比三郎　吉本五郎右衛門
阿部房太郎　柳政一　尼崎伊三郎　渡邊新右衛門
松井半重郎　伊藤萬助　赤澤好直　政岡德兵衛
岸本五兵衛　岸本兼太郎　金井金市　半田寅之助
山口吉郎兵衛　菊地恭三　和田ゐゐ　和田久左衛門
山本藤助　瀬尾喜兵衛　豊田宇左衛門　龜岡德太郎
久保田權四郎　弓場治兵衛　弓場庄兵衛　津和九右衛門
木村權右衛門　鎰谷修二　杉田善右衛門　寺西幸雄
井上周　石井虎松　中野信美　靱仲次郎
松本龜太郎　中川伊作　村井基一　吉田未知一
末久平三郎　石原亀七　服部駒藏　津熊宮藏
田中次太郎　近藤麒一　長谷川彌一郎　田中庄二郎
（兼）佐藤清　（兼）湯川光夫　（兼）高津滿　（兼）森田虎起

供物係

係長　大塚辰治

係員

大迫武雄　土井登　衣笠滋三　山本貞一

生谷友七　高田密藏　谷岡龍一　森下確也
佐藤清　湯川光夫　高津滿　藤井義弘
多賀谷義夫　黑瀨光雄　（兼）池之端穠

警衛部

部長　平塚米次郎

乘物係

係長　岸本熊太郎

係員

今田光匡　小田元吉　潮田耕　田坂茂忠
三浦晴一　草刈孟　淺原喜太郎　周連之助
泉賢次郎　今井章吉　（兼）山崎豊　（兼）中田善之助

警備及救護係

係長　安達將總

係員

右田忠吉　岩橋靜　山崎豊　山野茂樹
出水義雄　井守繁雄　里見恭一郎　中田善之助
高木靄治郎　谷長梅藏　井口銀治　中井貞次

右田忠吉　岩橋靜　山崎豊　山野茂樹
出水義雄　井守繁雄　里見恭一郎　中田善之助
高木靄治郎　谷長梅藏　井口銀治　中井貞次

岩橋澄現　小幡亀壽　藤原九十郎　岸本亮一
尾崎正一郎　堀井嘉右衛門　永井嘉三郎　久山鹿雄
辻本峯太郎　阪井和夫　（兼）今田光匡　（兼）小田元吉
（兼）潮田耕　（兼）田坂茂忠　（兼）三浦晴一　（兼）草刈孟

調度及會計係

係長　椎野信次
係員
野村良松　田賀六治郎　黑田浩　松井助之進
坂本正喜　近藤傳一　張替豊次郎　長谷川貞三
泉谷宇三郎

前項の如く事務章程を制定して事務の分擔を計り、市葬執行の圓滑を期したが、各係に於ては更に是れを分ちて、夫々專任係員を置き一層の完璧を期した。係員は不眠不休の活動を續け、諸準備及諸設營は順調に進捗した。以下諸般準備狀況を略述することゝする。

式場裝備

式場設備、葬列、神職に關する事項等は儀式及設備係に於て聯絡庶務班、設營班、式典班、通路班、式場管理班の各班を設け、夫々係員を編成して分擔事務遂行の圓滑を計つた。

式場設營　關市長逝去の夜十二時同邸に參集したる市主腦部に於て、市葬執行に內定を見、葬祭場を建設することゝなり、富士岡建築課長直に是れが豫算案を提出し、協議の上、祭壇其他建築設備費八千圓、市廳舍喪裝並に祭壇飾付費二千圓其他を決定二十七日午前三時頃より葬祭場、祭壇其他の建築及び諸設備の設計に着手し、正午之を完了、直に工事入札に附し、午後八時着工した。

一月二十八日午前九時、瀧山助役、三宅庶務部長等天王寺公園に來場、設備に關し打合せあり、一般參列者席其他に就て一部の變更を見、この旨請負者に通告して工事

協議の上、祭壇其他建築設備費八千圓、市廳舍喪裝並に祭壇飾付費二千圓其他を決定二十七日午前三時頃より葬祭場、祭壇其他の建築及び諸設備の設計に着手し、正午之を完了、直に工事入札に附し、午後八時着工した。

一月二十八日午前九時、瀧山助役、三宅庶務部長等天王寺公園に來場、設備に關し打合せあり、一般參列者席其他に就て一部の變更を見、この旨請負者に通告して工事を續行せしめた。爾來工事は順調に進捗し、一月卅一日深更諸設備萬端の完了を見た。

設備概要　式場は天王寺公園廣場の大部分三千五百坪に渉り、祭壇は音樂堂寄りに北面して木造神殿造りとし、參列者席三十七棟を作り、中央は幅六間の會葬者通路とし、其他神官席、禮場、警察官詰所、新聞記者席、放送局員詰所等を造營した。

式　場　天王寺公園
式場面積　三、五〇〇坪
建物面積　一、〇三二坪
工事着手　昭和十年一月二十七日
同　竣工　一月三十一日
祭　殿　建築面積三〇坪、木造神殿造り、軒の高さ地盤線上二一尺、棟高二九尺、屋根檜皮葺、三方幅五尺廻廊付、正面は幅九尺、高さ五尺の階段取設け、床・天井・壁は板張の上に白布を張り、長押下には白紋緞子製幕を張り、内部祭壇正面及同兩脇は朽木模様入り白羽二重製几帳幕を掛け、紫朱子模様野筋を垂れ上飾りとす。（圖面參照）

玉串奉奠臺脇には「マイクロフオン」三臺（内一臺はBK放送局設備）を設備す。

參列者席　テント張り　三十七棟　此建坪三三〇坪

内部は一人一脚用椅子二、〇〇〇人分を設備す、十數ケ所に暖爐用として炭火を配置し、擴聲機六臺を設置す、中央は幅六間の通路とし、兩側は供花百對を併置、テント周圍は鯨幕張とす

神官席其他　テント張り　三十七棟　此建坪三三〇坪

神官席一〇坪、親族席一五坪、特別參列者席一五坪、同控席一〇坪、二坪、神官控席一〇坪、禮場六坪、委員控席一五坪、神官更衣室三六坪、六坪、放送局員詰所三坪、葬儀委員詰所二八坪、警察官詰所一〇坪、案内係員及郵便局員詰所一〇坪、受付一五坪、同六坪、警察員詰所一〇坪、新聞記者席八坪、發表係席一〇坪、湯沸場三坪、携帯品預所二四坪、宮家事務官席八坪、便所（木造）五坪、同四坪、同一坪（神官用）

以上にして各テント内は夫々所要の椅子、卓子其他の設備をなし、係員詰所及新聞記者席には各〻電話を設備し、場内各テント間の連絡は場内私設電話（電氣局に於て設備せり）を以てす。

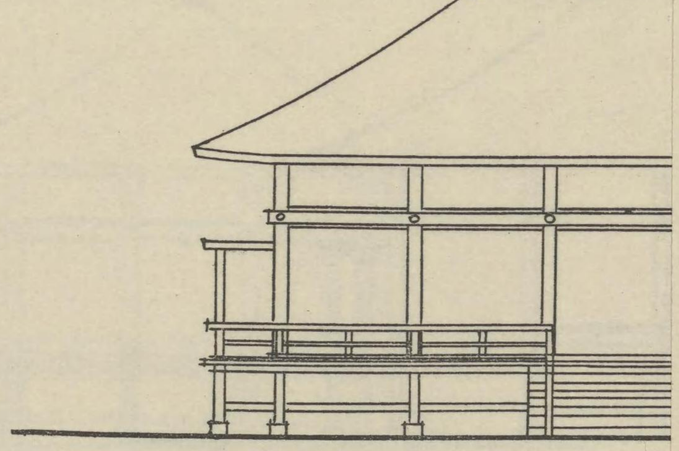
式場入口門　直徑四尺七寸、高さ十五尺、檜皮付丸太造一ケ所直徑三尺五寸、高さ

故關市長市葬祭殿設計圖

1/200

故關市長市葬祭殿設計圖

$\frac{1}{200}$



正

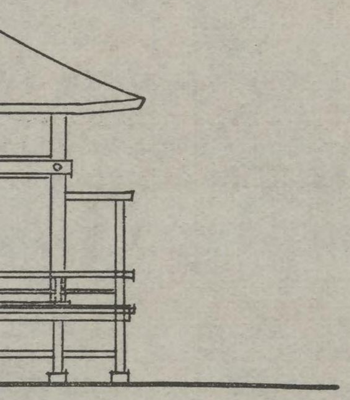
平

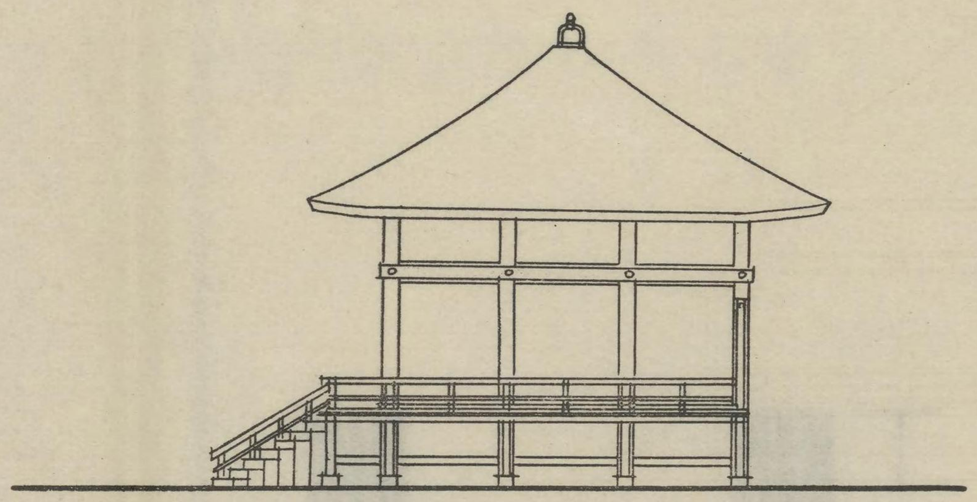
聞記者席には各電話を設備し、場内各ヲ入口間の連絡は場内和設電話（電氣局に於て設備せり）を以てす。

式場入口門　直徑四尺七寸、高さ十五尺、檜皮付丸太造一ヶ所直徑三尺五寸、高さ

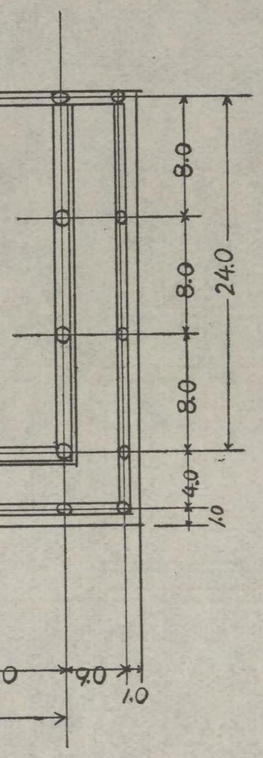
故關市長市葬祭殿設計圖

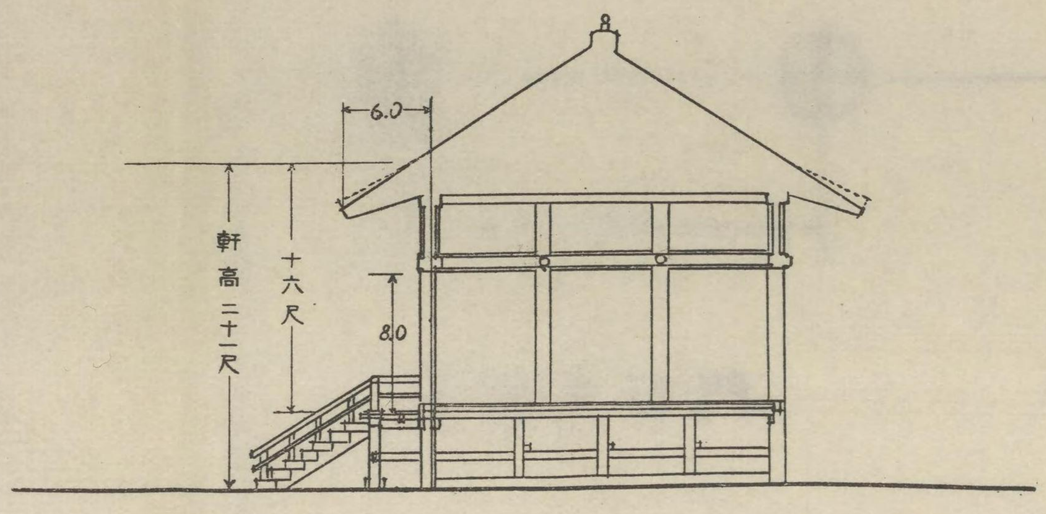
1/200



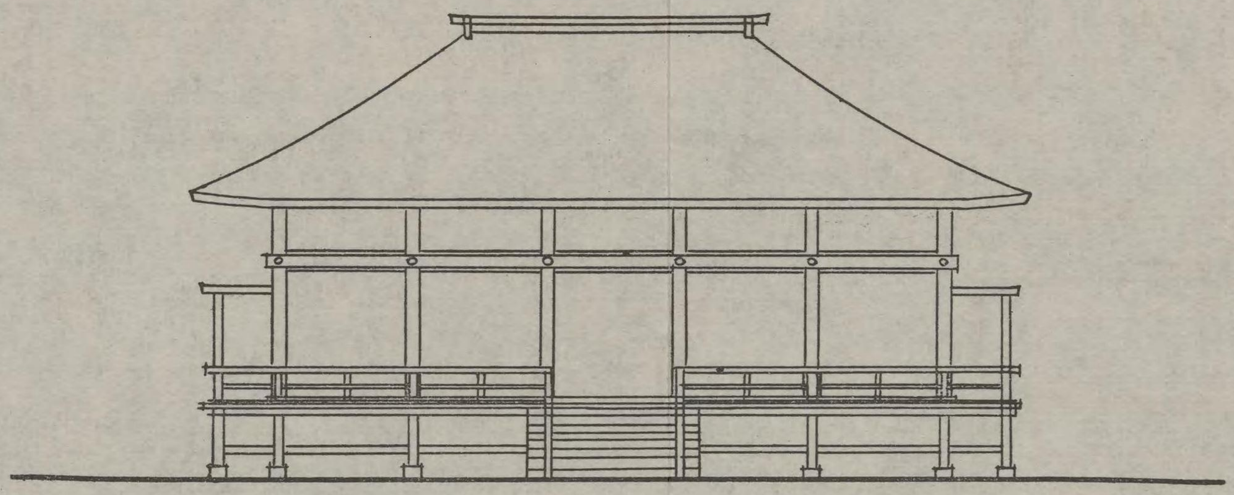


側　面

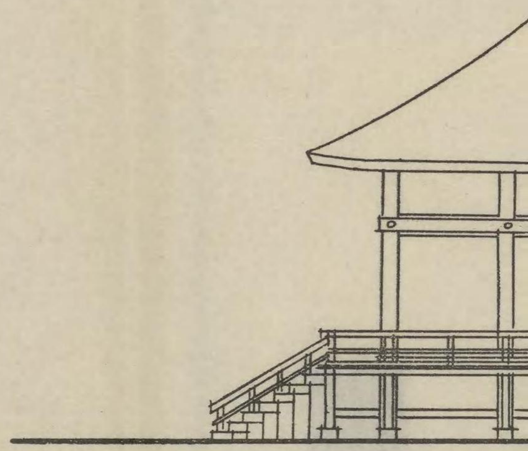




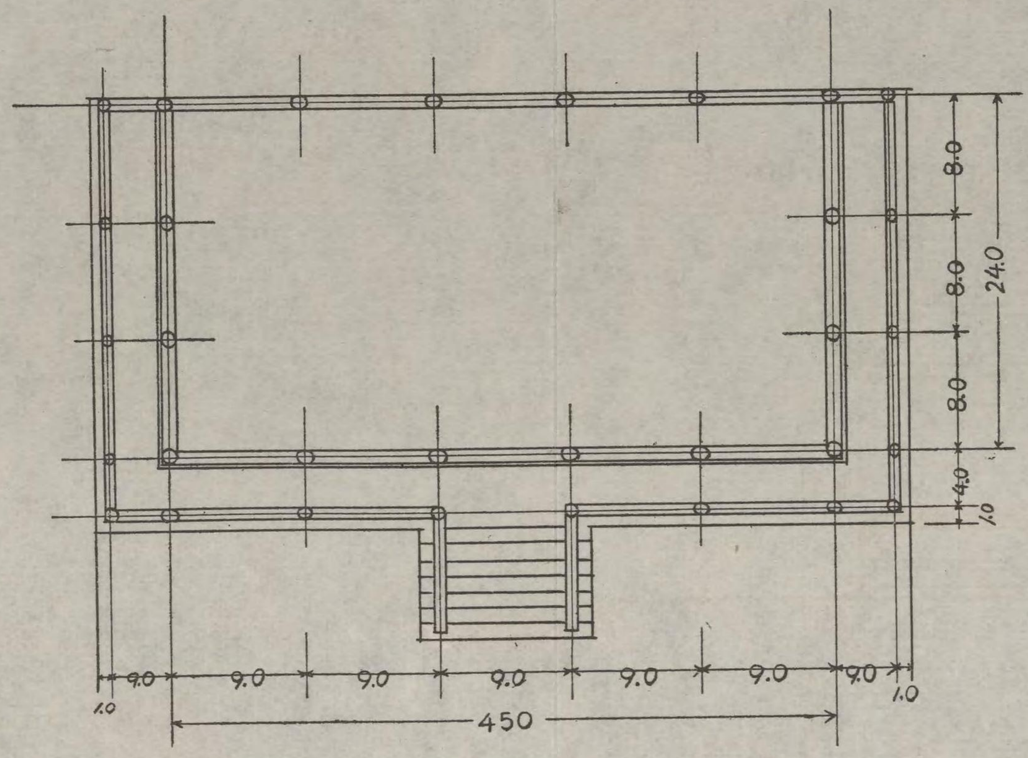
斷　面



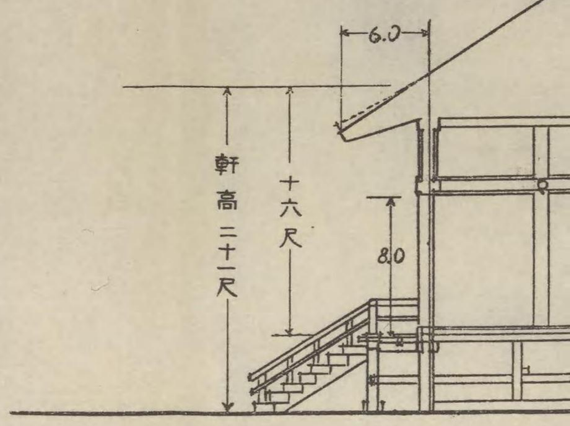
正　面



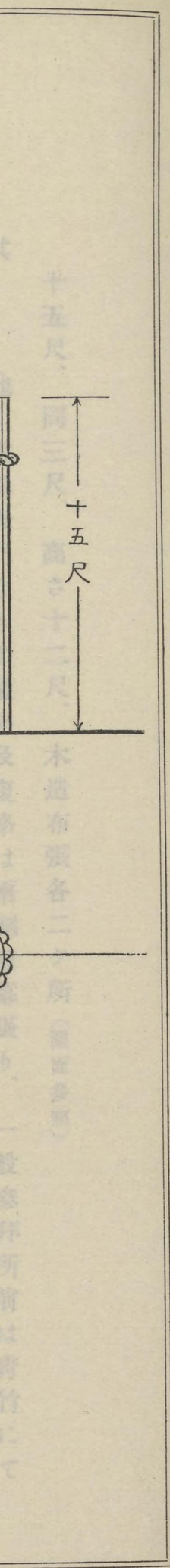
側

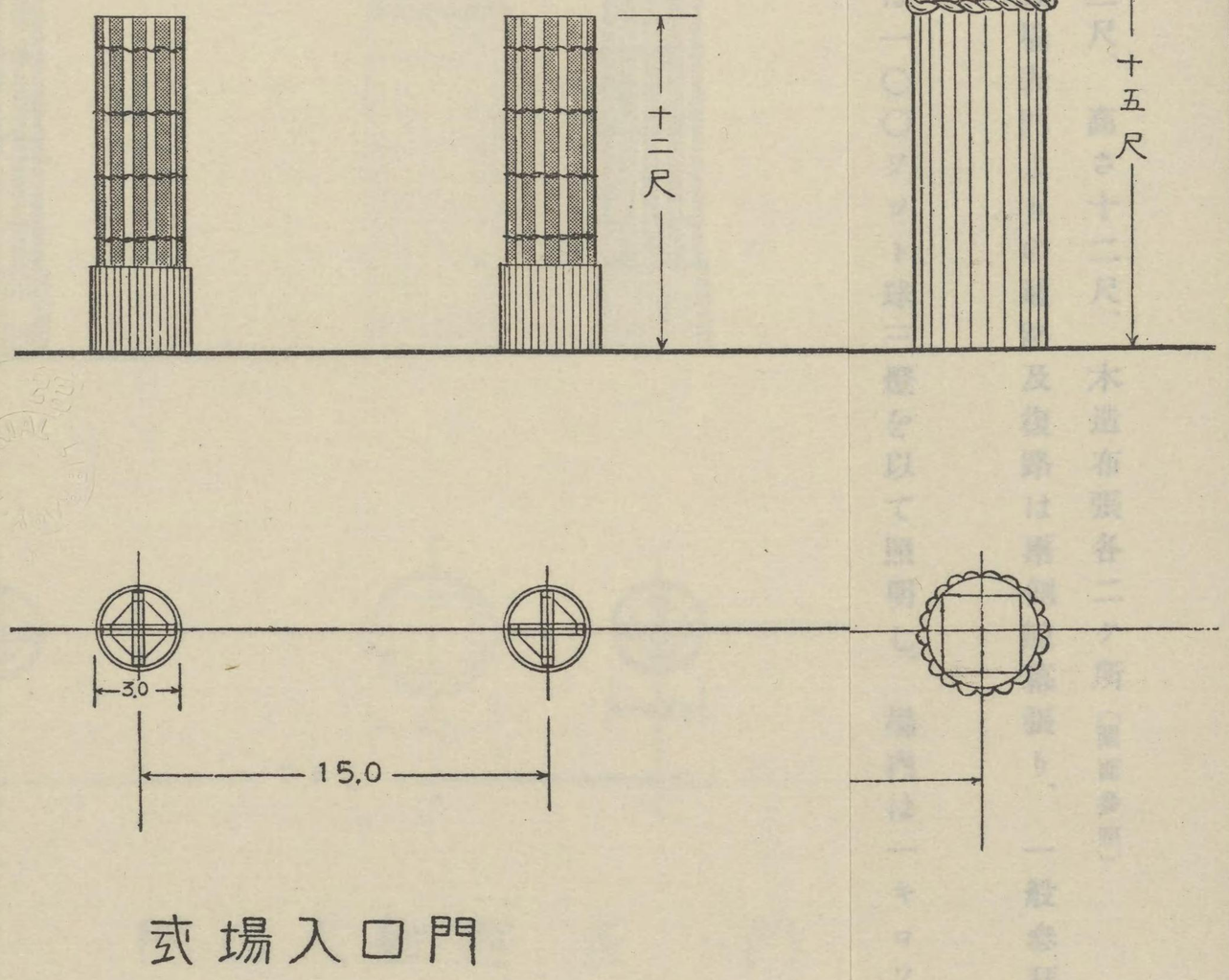


平　面



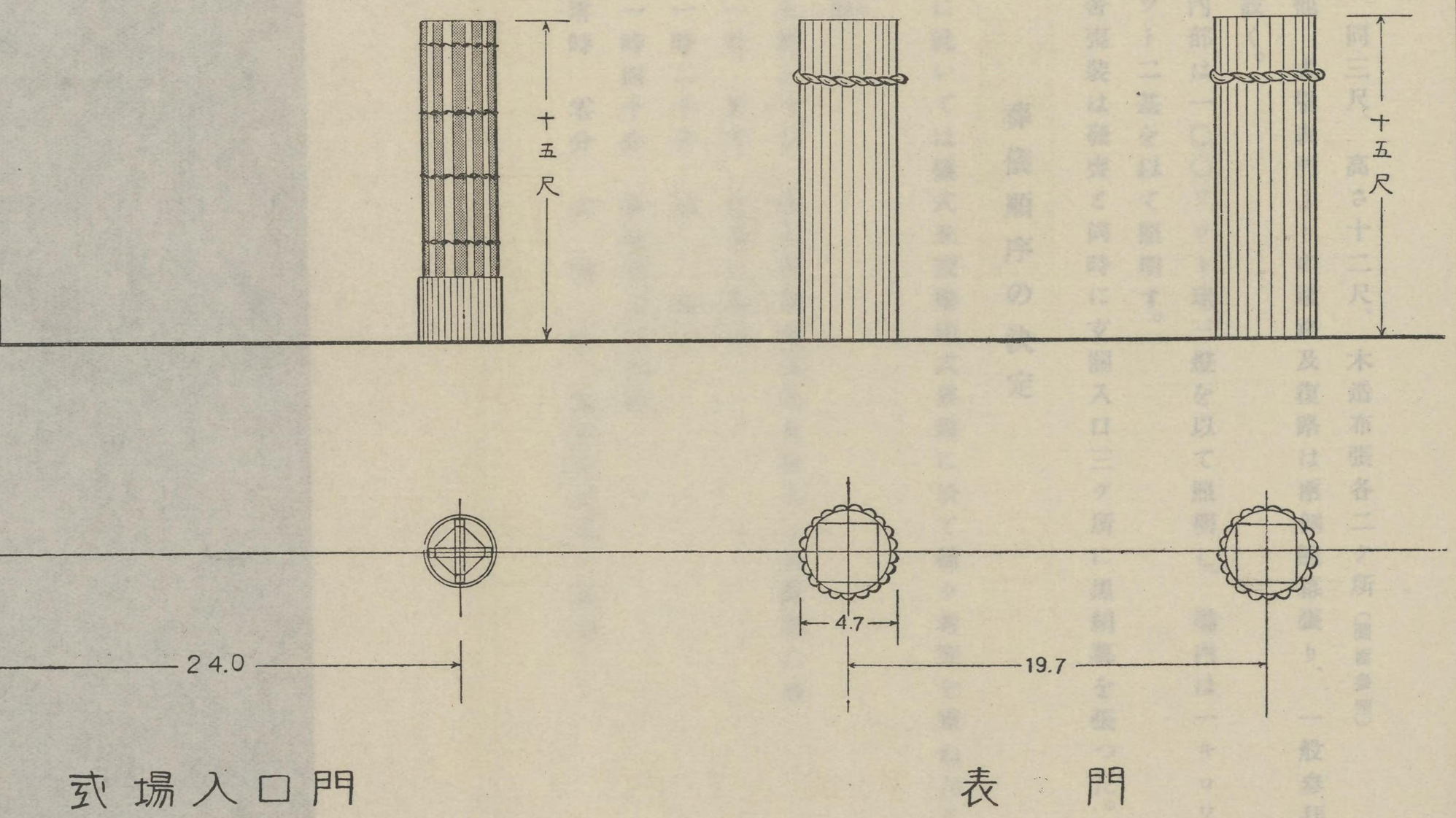
断


十五尺



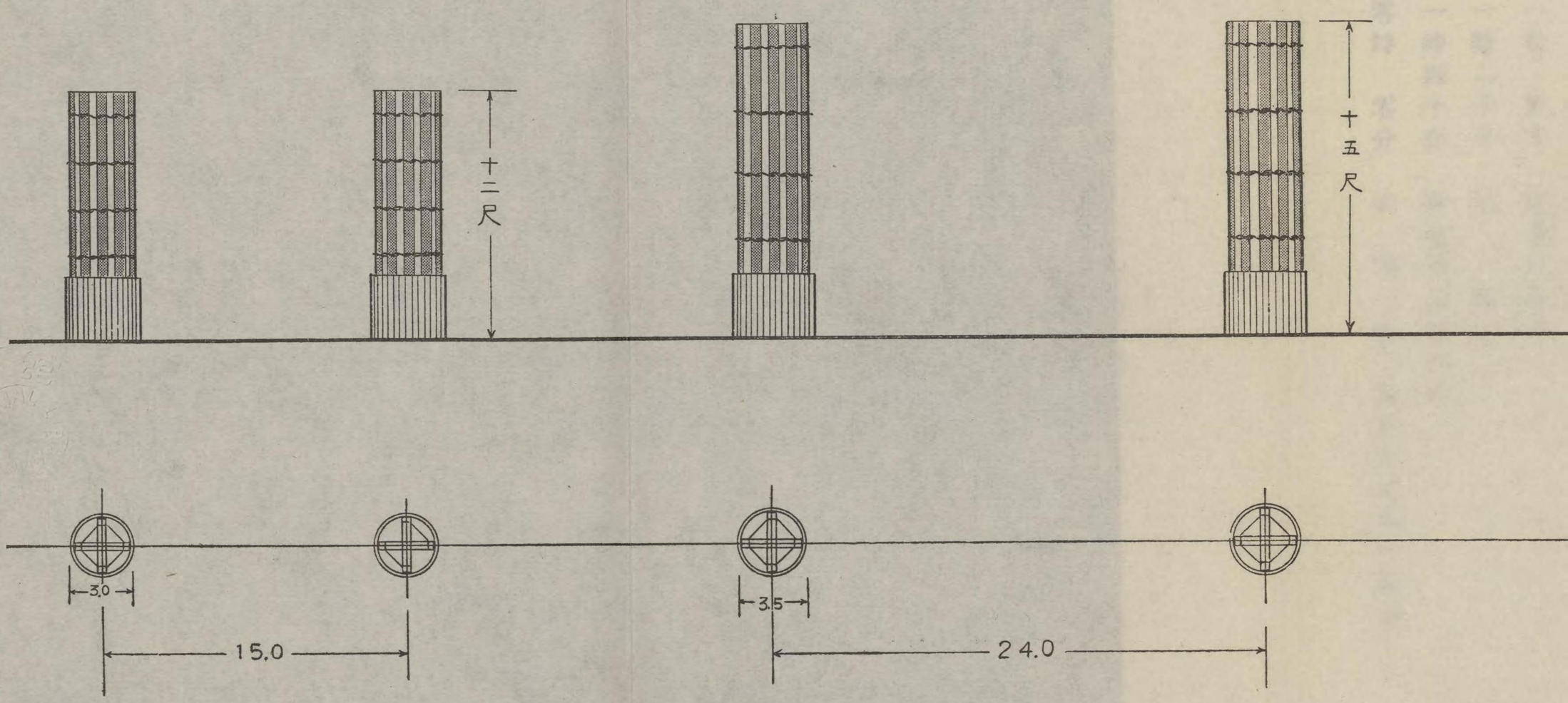
式場入口門

關市長市葬祭場入口門設計圖



式場入口門　　表　門

故關市長市葬祭場入口門設計圖

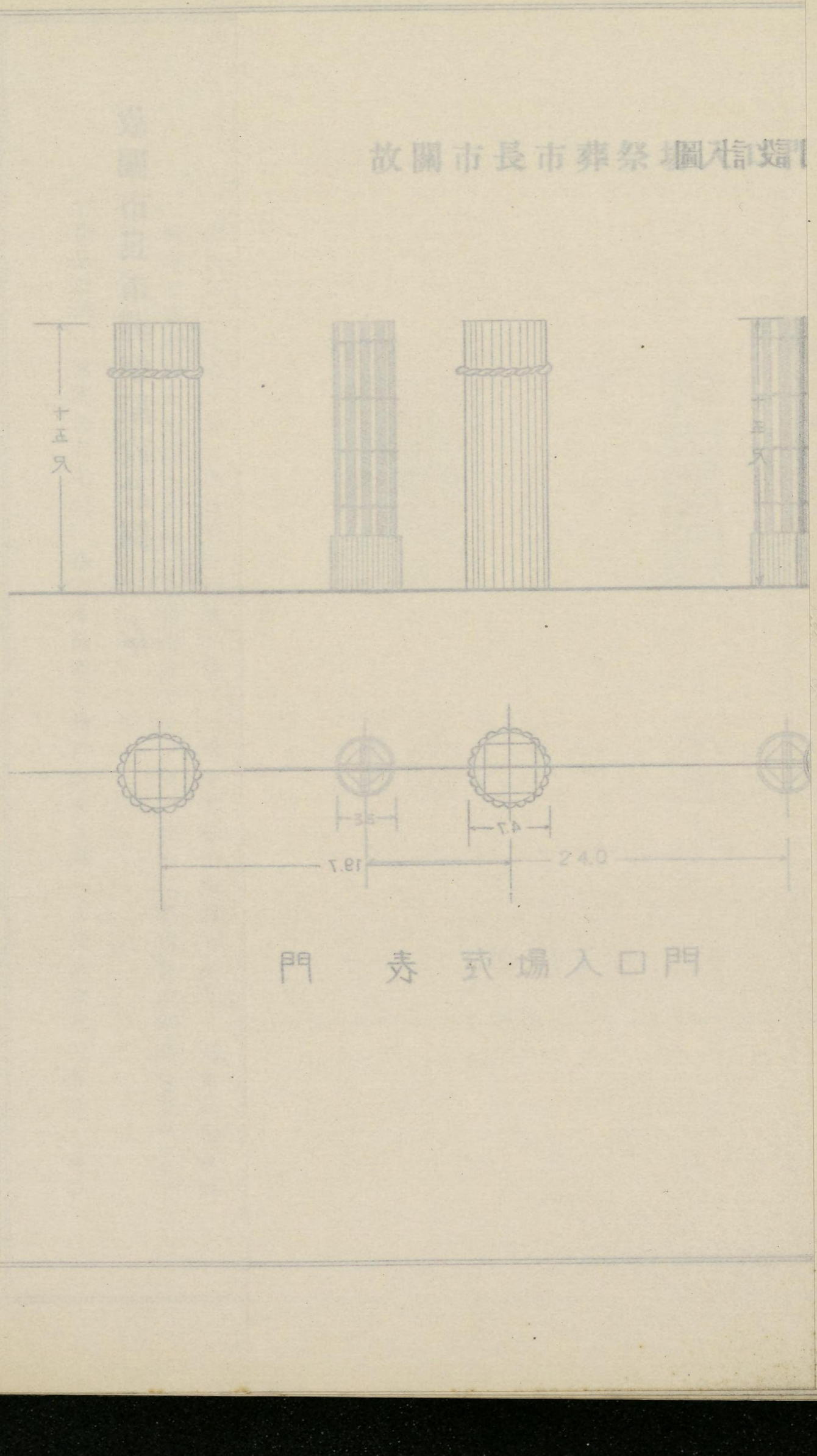


弐場入口門

弐場入口門

十五尺、同三尺、高さ十二尺、木造布張各二ケ所（圖面參照）

其　他　式場表門よりの通路及復路は兩側鯨幕張り、一般參拜所前は青竹にて



十五尺、同三尺、高さ十二尺、木造布張各二ヶ所（圖面參照）

其　他　式場表門よりの通路及復路は兩側鯨幕張り、一般參拜所前は青竹にて埒垣を設く。

尙祭殿內部は一〇〇ワット球三燈を以て照明し、場內は一キロワット投光器三、五〇〇ワット二基を以て照明す。

因に市廳舍喪裝は發喪と同時に玄關入口三ヶ所に黑絹幕を張つた。

葬儀順序の決定

葬儀順序に就いては儀式及設備係式典班に於て種々考究を重ねたる結果左の如く決定した。

發葬祭の儀。

午前　九時三十分　齋主並祭員五名及伶人三名關邸に着

同　十一時　零分　祭典に着手

同　十一時二十分　同　終了

同　十一時四十分　靈柩車自宅出發

午後　零時　零分　式場着　靈柩車式場に到着

葬場の儀

一、委員其他午前十一時五十分迄に式場入口附近に堵列靈柩車奉迎準備

一、諸員午後零時靈柩車奉迎、市音樂隊悲の曲奏樂

一、右終りて靈柩車は式場内を徐行、齋主祭員先行、市參與、市會副議長、瀧山池川兩助役棺側に侍し、喪主、親族、委員長等扈從、祭殿前に停車遺骨を祭壇に安置す

一、喪主、祭主、親族、葬儀委員長及委員等凡て午後零時三十分迄に所定の場所に着席

一、參列者一同着席

次齋主以下祭員着席　午後一時

次獻饌　奏樂

次齋主祭詞　一同起立

次東久邇宮家御代拜池田事務官　一同起立

次祭主祭文　一同起立

次弔詞

次玉串奉奠　奏樂

次　弔　詞
次　玉串奉奠　奏　樂

齋　主
喪　主
祭　主
葬儀委員長
遺　族
親族總代
參列者總代
市會議員總代
參列者退席

一、午後二時三十分一般告別式執行

祭員の決定

祭儀に關する齋主以下諸役は大阪市神職會に於て左の通り決定した。

齋　主　府社高津宮社司　子爵　池尻基房
典儀贊者　山上壽太郎　寶來正信　白江林太郎
舖設辨備　淺香千速　鈴木季重

祭員

今江左一郎　白江重五郎　玉田義一
守山重郎　尾崎喜市　保延楠記
三木豊太郎　足立正嗣　吉田大三
小田周吉　瀧口巖　今西淺治郎
岸本榮　瀧本清一郎　鹿谷久治郎
原勝彌　藤井將夫　北居文一
友田政一　北山章　露原進
美馬千之　川端正嗣

外ニ　齋主隨員　一名　伶人　十二名

上田藤一郎
阪上安吉
津江孝治
中村義正
天谷繼志
山口和臣
菅沼端

供花献榊の受付

故關市長の市葬執行決定するや、供花、献榊の申込殺到し、今更乍ら氏の徳望の高きを思はすものがあつたが、是れが擔當者である儀式及設營部供物係に於ては、早く分擔事務に付打合會を開き大體の方針を決定、大塚係長の下に更に班を設けて事務の分擔を計り、夫々擔當者を定め着々準備を進めた。

分擔及方針

一、事務分擔

庶務班　各班間の連絡に關する事項、委託現金の出納保管に關する事項、禮狀の發送に關する事項、他の班に屬せさる事項

供花班　供花の受付及調達に關する事項、供花の配列其他に關する事項

團旗班　團旗の受付及配列其他に關する事項

二、供物受付

供花の申込を其の儘受付くるときは大小區々に亙り敬虔なるべき式場の莊嚴を傷付くる虞あるを以て大體の標準を定め、榊に限り二尺八寸角、高さ十三尺のもの（例外として配列上角に位ずるもの八對特大を認む）に統一し、之が購入に就いては可成當係に一任せしめらるゝやうにした。

三、供花調達者の選定

市內供花店中供給能力大にして且最も信用あるものを選ぶこと、す。

四、團旗の取扱

團旗の配列に就いては供花の豫定數超過の傾向ありしを以て一定の場所を設くることゝせしも參列者又は團旗捧持者の出入に混雜すべきを慮り（天幕內參列者席の兩側をそれに當てんとせしも）之を全然取止めることゝし團旗は各自參拜の際之を捧持せし

むるやう團旗班より各方面に通牒することゝせり。

受付開始　右の如き陣容と方針を以て關邸及市廳舍市長公室に於て、愈〻供花献榊の受付取扱を開始するや、陸續として申込あり。畏れ多くも東伏見宮家、東久邇宮家を始め奉り、高位高官、財界、學界の名士、各種公共團體、著名銀行會社、市内各新聞社、或は滿洲國高官、獨逸大使、大阪領事團等、凡ゆる方面より贈られて、實に五百九氏（氏名市葬記第一一五頁以下參照）の多きに上つた。その内譯次の通りである。

		榊	花輪	盛花	立花
二十八日	關邸	一			
	市廳	五〇	二	一	二
二十九日	關邸	一	二	一	一
	市廳	一二	一三四	二	一
三十日	關邸	一	二		
	市廳	一六	二一	二〇	一
三十一日	關邸				
	市廳	七八	三七七	二四	二六
二月一日	關邸				
	市廳	一	五	三	二
計		榊	花輪	盛花	立花
		二六七	三	二	一
		一四七	三		
		三七	四一	一	
		五	三		
		四五五	五〇	三	一

備考（イ）供物係ニ於テ調達シタル供花　榊四三〇對、花輪三四個（二七名分）、
（ロ）當日迄ノ持込供花　榊二五對、花輪二三個（二三名分）、立花一對
計　盛花三對

配列　而して之が配列に就いては豫て準備工作を進めつゝあつたが、更に完璧を期する爲、一月三十一日最後的打合會を第一委員會室に開き、配列順位を決定し、供花店とも連絡を取りて、係長以下係員（補助員として公園課員、産業部員及監査部員を出動せしむ）

式場に赴き、夜を徹して整列に努めた結果、市葬當日午前十時に至り完了した。斯く

其すを爲一月三十一日最後的打合會を第一委員會室に開き配列順位を決定し供花店とも連絡を取りて、係長以下係員（補助員として公園課員、産業部員及監査部員を出動せしむ）

式場に赴き、夜を徹して整列に努めた結果、市葬當日午前十時に至り完了した。斯くて打並ぶ献榊は恰も森の如く、本市最初の盛儀を偲ばすに相應しい。

警備員及救護員の配置

這回の市葬は大阪市としては初めての祭儀であり、且つ名市長としてその聲望隠れなき故關市長の靈を送る葬儀なれば、市葬當日及翌二日の一般告別式には各方面の參列者並に一般市民の參拜者等多數來場ある見込にて、式場内外の混雜を慮り、安達保健部長警備及救護係長となりて、警備は保健部清掃課、救護は保健部庶務課、防疫課市民病院等に分擔せしめ、參列者、參拜者の整理及び救護並に式場の警備に當らしむることゝなつた。

警備　警備は前記の如く清掃課に於て擔當し、同課員の殆ど全部を動員して掛員に任じ、班を第一より第六班及び連絡、設備の二班に分ち、第一班（十一名）を逢坂門入口附近に、第二班（十一名）を逢坂門入口より公園入口の間に、第三班（十五名）を公園入口自動車下車場より受付迄及び一心寺裏より公園への入口迄に夫々配備し、專ら歩行者の整理に當らしめ、各隊の連絡を密にして、通路及び受附の混雜を防ぎ、各入口附近の歩行者・自動車等の蝟集混亂せざる様、警察官及び乘物係員と協力整理をなさしめ、

第四班（十七名）を式場内、第五班（十三名）を式場外の整理取締に任じ、特に一般禮拜者の混雜なきを計らしめ、第六班（十六名）は歩行者出口、自動車使用者出口に配し、所定入口外よりの入場を制止すると共に、一般群衆の蝟集を整理し、退出者に支障なからしむる様にした。又連絡班（十四名）、設備班（七名）を本部員を兼ねて豫備隊となし、連絡班に各受持場所の情況視察、本部の指揮命令の傳達、設備班に詰所其他の設備及食料配給等を掌らしめることゝし、來るべき盛儀の執行に支障なからしむべく充分の備へを立てた。

救護　式當日の救護班は二ケ班とし、參列者、參拜者の多數に上るを豫想して、一班の編成員を常時の倍、卽ち醫員二名、事務員一名、看護婦四名又は五名、雜役二名として、是れが編成員は市保健部庶務課、防疫課及市民病院より採つた。而して市葬前日の一月三十一日には本廳に於て所定「市葬祭場救護事務要項」に依り打合會を開き、諸般事項に對し萬遺漏なきを期したが、救護所は南部（音樂堂內）、北部（兒童遊戲場內）の二箇所とし、（各椅子數脚、卓子一、寢臺、毛布、枕各二、金盥、バケツ、火鉢各一を儀式及設備係に於て設備し、自動車一臺、擔架、救急箱各一、衞生材料各一組を市民病院並に保健部にて用意す）本部に安達係長以下係員五名、南北兩救護所には夫々醫員二名、事務員一名、看護婦五名、雜役二名を配置し、各員は當日午前十一時より現場に出務せしめることゝした。

市民の深き哀悼に應ふるために、本市に於ては市葬諸般の情況を逸早く一般市民に報道すべく、市葬總務部に發表係を置き、福留土木部長之が係長に任命せらるゝや、即時係員を部長室に集め、蒐集班發表班、連絡班の三班を組織して左記の通り事務の分擔を計つた。

蒐集班　市葬事務章程による各部に就きその計畫及執行の程度等の情報を蒐集す
發表班　蒐集班より受けたる材料を適宜取捨の上之を新聞社及放送局に發表す
連絡班　蒐集班及發表班の連絡に關する事項並外部の接待

斯く報道事項を正確且つ迅速に發表することを期して直に活動を開始し、先づ蒐集班より齎らした情報を係長の指揮に基き、取捨選擇して電話或は謄寫印刷に附して、市政記者並に放送局に發表すると共に要點を記者俱樂部に揭示して通信社の報道資料を提供したが、新聞紙に登載すべきものは毎日午前十一時及午後二時前に蒐集せるものを謄寫印刷に附し、毎回四十部内外を作成して市政記者に配布し、ラヂオ放送に關しては毎回ニュース放送時に於て大體通信社に提供せる資料に依り、特に一般に迅速周知せしむべき事項を發表した。

情況の報道

二名を配置し、各員は當日午前十一時より現場に出務せしめることゝした。

看護婦五名　雜役

新聞　いま市葬事前に新聞に發表したる事項を示せば大體次の如きものである。

二十九日緊急市會終了後市首腦部の市葬事務打合せ、委員長以下市葬々儀委員の任命、葬儀參列案內範圍、祭資御下賜の御趣、叙勳追叙の傳達、供花獻榊の情況等々

尙ほ三十一日夜に至る迄に蒐集したる資料を、更に各新聞、通信社の記事輯錄の便を考慮して一括編輯して謄寫印刷に附し、市葬當日の早朝之を配付した。

ラヂオ放送　ラヂオ放送に就いては前述の如く時々その情報を放送局に齎して居たが、市葬確定後市葬前日迄に放送せしめたる事項の一斑を窺へば次の通りである。

畏き邊りに於かせられては關市長生前の功を嘉せられ、金一封を祭資として下賜せられ、本日宮內大臣から傳達されました。

本日午後三時までに各方面から故關市長の市葬の際、靈前に供ふべく申込まれた供花の數は三百七十に上り、最早や供進の餘地がありませんので、三十日限りを以て受付を拜辭する由であります。（一月二十九日午後七時ニュース時間）

以上發表係は各〻その組織機能を遺憾なく發揮して市葬當日を迎へる事となつた。

會葬者の接待準備

會葬者の場內案內及接待、團體會葬者の統一、禮場等に就いては、接待及禮場係を置き、市吏員、舊名譽職、市吏員兼務者を以て係員とし、現市會議員を補助員として是れに當らしめることゝなつたが、その係員內譯は、清水係長以下市吏員側八十名、

會葬者の場内案内及接待、團體會葬者の統一、禮場等に就いては、接待及禮場係を置き、市吏員、舊名譽職、市吏員兼務者を以て係員とし、現市會議員を補助員として是れに當らしめることゝなつたが、その係員内譯は、清水係長以下市吏員側八十名、舊名譽職側百九十三名、市吏員兼務者四名、計二百九十三名である。而して實施事項を特別招待者案内、祭場内列立（一般參列者席内）、隨意參拜者接待等に分ち、東西兩禮場は午後二時より係員を交替に出場せしめることゝし、夫々持場を定め當日の事務遂行の圓滑を期した。

乘物整理の準備

市葬當日式場並に其附近の自動車其他の乘物整理は市電氣局運輸部にて擔當し、既に一月二十八日より準備を開始したが、同二十九日正式に市葬の決定を見るや、市葬事務章程に基き、市葬警衞部乘物係の事務を分擔して準備を續行した、その經過は次の如くである。

一、實地調査　一月二十八日より三十日に亙り三浦主事、草刈主事以下運輸部係員は式場並に其附近の自動車整理其他に付實地調査を行ふ。

二、所轄署と打合　一月二十九日參拜者の整理並に自動車の整理及駐車に關し所轄警察署と交涉し諒解を得。

三、臨時電話の架設　公園内六ケ所に私設電話、二ケ所に公衆電話を臨時に設備し公園北口を交換臺として電氣局並に各交叉點の私設電話、公園内各相互間の連絡に供す。

四、自動車置場擴張　建築課に依頼し美術館西側の竹垣を撤去し自動車出入口として同館前の木製門の一部を撤去す。

五、立札　自動車置場の指示並に指導用に立札三十枚、參拜者案内用に十二枚を樞要場所に立つ。

六、自動車整理準備　參列者、參拜者乘用の自動車整理の爲、合符「イ」より「ル」に至る約千枚を準備し、混雜を防ぎ運行を便ならしむる樣萬端の準備を整ふ。

七、豫行演習　三十一日靈柩車、參列者自動車の順列編成を整へ關邸より式場への葬列自動車運行の豫行演習を行ふ。

右の如く周到の準備を重ねて分擔事務の遂行に遺憾なきように努めたが、更に同係内に、本部、自動車案内係（電氣局運輸部自動車課受持）、自動車案内及整理係（電氣局運輸部電車課受持）を置き、夫々係員の擔當部署を取極め、而して葬場内電話取扱方を作つて、是れが受持係員を定め、電話連絡の遺漏なきを保し、尚ほ葬儀參列者案内要項を制定して一層の完璧を期した。

れが受持係員を定め、電話連絡の遺漏なきを保し、尚ほ葬儀參列者案内要項を制定して一層の完璧を期した。

葬儀參列案内狀及案内範圍

故關市長市葬儀執行に際して、葬儀參列を案内すべき範圍に就いては、市葬總務部受付係に於て專ら詮衡する所であつたが、一月二十八日案内文案の作成と共に、右詮衡を終り、夫々發送を開始した。その數二千七百有餘の多きに達したが、係員の奮勵に依り早急にこれを了へた。左に案内文並に案内範圍の主なる者を掲ぐ。

案内文

大阪市長關一殿本月二十六日午後十一時十分卒去被致候ニ付來ル二月一日午後一時天王寺公園運動場ニ於テ神式ニ依リ市葬執行候間御參列被成下度候

昭和十年一月三十日

大阪市長代理大阪市助役　加々美武夫
葬儀委員長大阪市會議長　川畑清藏

宛

追而御參列ノ際ハ別紙圖面御參照被下度尚本狀必ス受付係へ御提示願上候

（別紙圖面）

齋場御入口

逢坂門通稱「公園北口」（市電「天王寺公園前」停留場

一、徒歩ノ御方ハ右ヨリ受付「B」ヘ御乘車ノ御方ハ左側ヨリ受付「A」ヲ御順路トシテ御入場ヲ願ヒマス

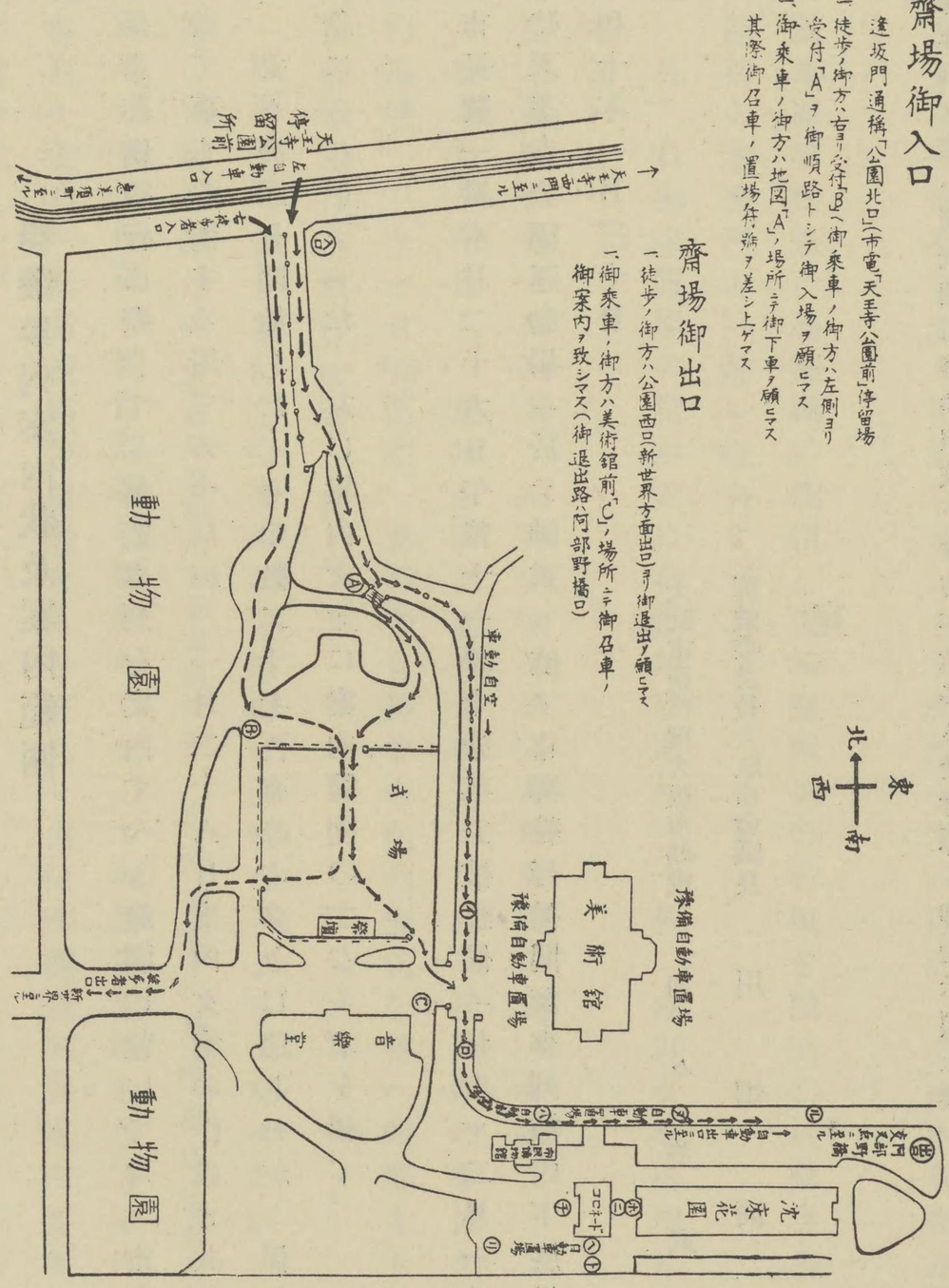
一、御乘車ノ御方ハ地図「A」ノ場所ニテ御下車ヲ願ヒマス

其際御召車ノ置場待號ヲ差シ上ゲマス

齋場御出口

一、徒歩ノ御方ハ公園西口（新世界方面出口）ヨリ御退出ヲ願ヒマス

一、御乘車ノ御方ハ美術館前「C」ノ場所ニテ御召車ノ御案内ヲ致シマス（御退出路ハ阿部野橋口）



案内範圍　遺族及親族、市係長以上及年給囑託、市會議員、市學務委員、待遇議員、勅任官衙長官及勅任官、商工會議所正副會頭、大阪府知事及部長、府下貴衆兩

案內範圍　遺族及親族、市係長以上及年給囑託、市會議員、市學務委員、待遇議員、勅任官衙長官及勅任官、商工會議所正副會頭、大阪府知事及部長、府下貴衆兩院議員、五大都市々長、府下市長、市內新聞通信社長、市政記者、特別關係者、青年團理事、市教育會役員、實業協會役員、尙志會役員　婦人聯合會役員、軍人援護會役員、都市協會役員、體育協會役員、輸出協會役員、神職會役員、市直轄學校長及圖書館長、小學校長及幼稚園長、大區區會議員、水道協會關西支部役員、弘濟會長、大阪土地整理協會役員、衞生組合聯合會正副會長及役員、日本國際協會大阪支部役員及支部長、關西書道會役員、淀川左岸及右岸水害豫防組合正副議長、在阪退職市部長以上、市部選出府會議員、市內官衙長官（勅任官以外）、辯護士會長、醫師會及齒科醫師會正副會長、衞生會正副會長、大阪駐在各國領事、佛教管長、官國幣社宮司、商工會議所議員、都市計畫大阪地方委員、府課長及市內警察署長、市農會役員、各種稅調查委員、待遇寄附者、在鄉軍人各區聯合分會長、近府縣下市長供花寄贈者、校園醫師會役員、校園齒科醫師會役員、保育會役員、其他合計約二千七百名

市葬前日の一月三十一日左記各紙に廣告を掲げて一般に市葬執行を公表した。

廣告文

大阪市長關　一殿本月二十六日午後十一時十分卒去被致候ニ付二月一日午後二時半ヨリ五時迄ノ間天王寺公園運動場ニ於テ神式ニヨリ市葬(隨意參拜)執行候間此段謹告仕候

追テ御供物ノ儀ハ乍勝手固ク御辭退申上候

昭和十年一月三十一日

大阪市長代理
大阪市助役　加々美武夫

葬儀委員長
大阪市會議長　川畑清藏

貴族院議員大阪市長從四位勳三等關　一儀本月二十六日午後十一時十分卒去致候間此段御通知ニ代ヘ謹告仕候

昭和十年一月三十一日

嗣子　關秀雄
親族　一同

掲載新聞紙　大阪朝日、大阪毎日、大阪時事、大阪日日、關西日報、夕刊大阪、關西中央、大阪朝報、大阪新日報、大阪毎夕、大阪中外、大阪經濟、大正日日、大

掲載新聞紙　大阪朝日、大阪毎日、大阪時事、大阪日日、關西日報、夕刊大阪、關西中央、大阪朝報、大阪新日報、大阪毎夕、大阪中外、大阪經濟、大正日日、大阪今日、日刊工業、日本工業、大阪夕刊新聞の十七紙

昭和十年一月三十一日

嗣子　關秀雄

親族一同

鳴咽哀しく霜天に傳はりて、大阪市最初の市葬を執り行ひ、一代の名市長故關一氏の靈を送る。昭和十年二月一日は遂に來た。

顧れば二十星霜、夙莫市政に親んで二百七十萬市民の慈父と仰がる。いまその英靈を祭りて久遠の訣れを惜む、市民の弔意愈〻切にして亦深し、歎聲衢に漲り悲風全市を吹く、噫、今日ぞ悲しき。

發葬祭の儀

然れば悲しみの祭典は先づ發葬祭の儀より始められた。この日午前九時半、齋主高津宮社司池尻基房子爵並に祭員四名、伶人三名は哀愁漾ふ關邸に參向し、祭典の準備に着手した。

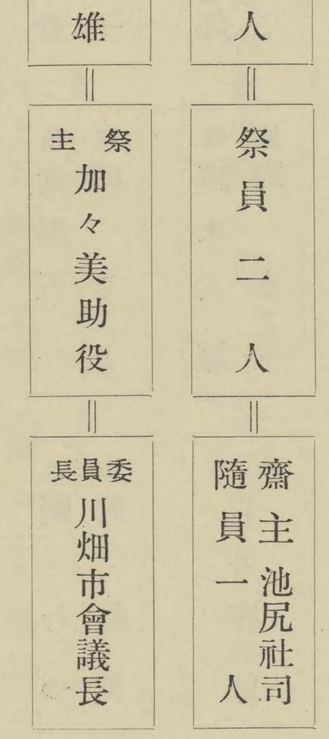
祭壇は正面机上に眞菰を敷き、その上に臺灣檜造り間口三尺、奥行二尺五寸、深さ一尺五寸、足高四寸の唐柩を奉安し、中には胴骨、眞骨、舍利骨を納め、白羽二重の覆をなし、その前には榊一對、燈明臺一對を供へ、神饌臺五臺を設け、畏き邊りより御下賜の祭資、位記及勳章、瓶子、水壺、瓦器等を乘せたる三寶五器と八ッ足に盛り

一尺五寸、足高四寸の唐柩を奉安し、中には胴骨、眞骨、舍利骨を納め、白羽二重の覆をなし、その前には榊一對、燈明臺一對を供へ、神饌臺五臺を設け、畏き邊りより御下賜の祭資、位記及勳章、瓶子、水壺、瓦器等を乘せたる三寶五器と八ツ足に盛りたる神饌を供へられて祭典の準備全く成り、同十一時より嚴に祭典は執り行はれた。

素服をまとふ喪主秀雄氏をはじめ市葬祭場に赴かれざる家族、親戚の人々の悲しみも新に玉串を捧げたが、母堂よし刀自が愛息の柩に向ひ泣き濡れた双眼を押へながら、令孫武子夫人に扶けられ永訣の玉串を奉奠した。そのいた〳〵しさは並み居る人々の涙をそゝり、同十一時二十分しめやかに式は終つた。斯くて遺族、親戚の人々の名殘は何時までも盡きなかつたが、同四十分靈柩は同邸玄關より白木の靈柩車に移され近親者の見送りを受けて愈〻永住の居邸を滑るが如く離れた。

葬列は蜿々左の順序により、同邸を南行し、上本町九丁目を西折して椎寺町、天王寺西門を經て、天王寺公園の葬場に向つた。

葬儀自動車配車表



遺族 の・り 義雄 和代	遺族 武田直秀 同 武子 同 直和	遺族 清水武彦 同 光子	親族 武田五一 同 こと	親族 關むつ 同 隆英
親族 藤本伊美 同 しげ子	親族 齋藤松司 早川たみ	親族 大塚長七郎 同 咲子	親族 清水太郎 同 まさ子	親族 岩井勝次郎
津村秀松 同夫人	有田邦敬 同夫人	木間瀬策三 同夫人	熊谷謙三郎 富永祐治	平塚市參與
山野市會副議長	瀧山助役	池川助役	新聞記者	新聞記者
新聞記者	新聞記者	新聞記者	豫備	豫備
豫備	家人			

沿道の弔送

哀しき柩の葬場に向ふ沿道は早朝よりすつかり掃き清められ、戸毎に弔旗を出して

哀しき柩の葬場に向ふ沿道は早朝よりすつかり掃き清められ、戸毎に弔旗を出して哀悼の意を示した。道の兩側には附近小學校五年生以上の兒童約四千名をはじめ、青年團員約八百名、天王寺區役所職員百名等各種團體約六千名、校旗或は團旗を掲げて堵列し、熱誠なる多數市民の弔送者と共に深甚の弔意を籠めて靈柩を目送した。

一、關邸門前より上本町九丁目迄東側北より青年團員、青年訓練所生徒二百名、國防婦人會員三百五十名、愛國婦人會員百（指揮者山本青年團長）區役所職員（指揮者栗岡天王寺區長）

二、大島邸前より放送局前迄西側愛國婦人會員

三、上本町九丁目より椎寺町を經て天王寺西門交叉點迄兩側小學校兒童（指揮者天王寺第八第九兩小學校長）

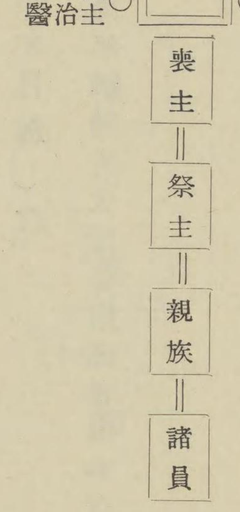
四、天王寺西門交叉點より天王寺公園北口前迄東より國防婦人會員、在鄉軍人分會員、（指揮者荒木分會長）

一般市民も栗岡天王寺區長の指揮を受けて隨所に列立弔送した。

葬場の儀

葬列葬場に着す　この日葬場天王寺公園は朝未だきより鯨幕を張り廻らし、通路の

兩側には各方面より贈られた五百餘對の眞榊が立ち列び、玉砂利淸々しく敷かれて、その裝ひ莊重を極め、場の南端中央に、北面して設へられた杉皮葺神殿造りの純白の祭壇は折柄の陽光を浴びて、一際神々しく照り榮えて居た。やがて時來りて正午ともなれば、蜿々たる葬列は市葬關係者其他の出迎へを受けて徐々齋場に着いた。市音樂隊はショパンの葬送行進曲を奏して悲しみを更に添へ、葬場の空は次第に愁ひに裹まれ行く中に扈從の全員下車を終り、靈柩車は再び次のやうに護られて、參列者市葬關係諸員の默禱を受けながら肅々と祭壇に向つた。



斯くて樂人の奏する樂の音に伴れ、靈柩車は音もなく進んで、祭壇前方に停車する や靈柩は諸員の敬禮裡に恭しく祭壇に奉遷された。

祭壇の模樣　英靈遷りませし祭壇の模樣如何にと仰ぐれば、靈柩は祭壇正面中央に安置され、「故大阪市長從四位勳三等關一之柩」の銘旗を掲げ、柩上には故人の東京高

安置され、「故大阪市長從四位勳三等關一之柩」の銘旗を掲げ、柩上には故人の東京高

商時代の門下生關門會員が還暦祝に贈つた油繪の肖像畫が飾られ、柩の正面には恩賜の祭資を、左右には餘榮赫々たる勳三等旭日中綬章を始め、故人生前の榮譽を偲ぶ勳四等瑞寶章並に佛國、白耳義の勳章等が供奠され、更に靈柩を圍んだ祭壇左右兩脇には忝じけなくも東伏見宮家、東久邇宮家より御下賜の各一對の御榊、續いて大阪市の榊一對が献ぜられ、祭壇前には各方面より贈られた供花が飾られて、馥郁の匂を漾はせ、その狀、誠に神然びまして自づと頭を垂れる。

祭典　やがてその調べも哀しき樂の音と共に、祭主、葬儀委員長以下の諸員、續いて喪主、遺族、親戚の人々等それ〳〵設けの席に着き、安井大阪府知事をはじめ二千の特別參列者も順次着席し、次いで齋主池尻高津宮社司以下祭員一同着席した。時午後一時、茲に英靈を慰めまゐらす祭典は始められた。場内肅として水を打てるが如く、參列者一同襟を正して畏めば、樂の音再び起りて更に哀しみを織り綯ふ裡に、獻饌の儀を行ひ濟まされ、參列者一同の起立に、齋主嚴かに祭詞（別項）を白せば、畏くも東久邇宮殿下御名代池田事務官は徐ろに祭壇に御參進、親しく玉串を御供奠せらる。遺族は素より參列者一同はこの有難き思召に感泣した。續いて祭主加々美市長代理歩を柩前に運び、恭しく祭文（別項）を奏す。終つて一同着席するや、岡田內閣總理大臣（土岐大阪府總務部長代讀）、後藤內務大臣（鈴木大阪府學務部長代讀）、高橋大藏大臣（泉造幣局長代讀）、

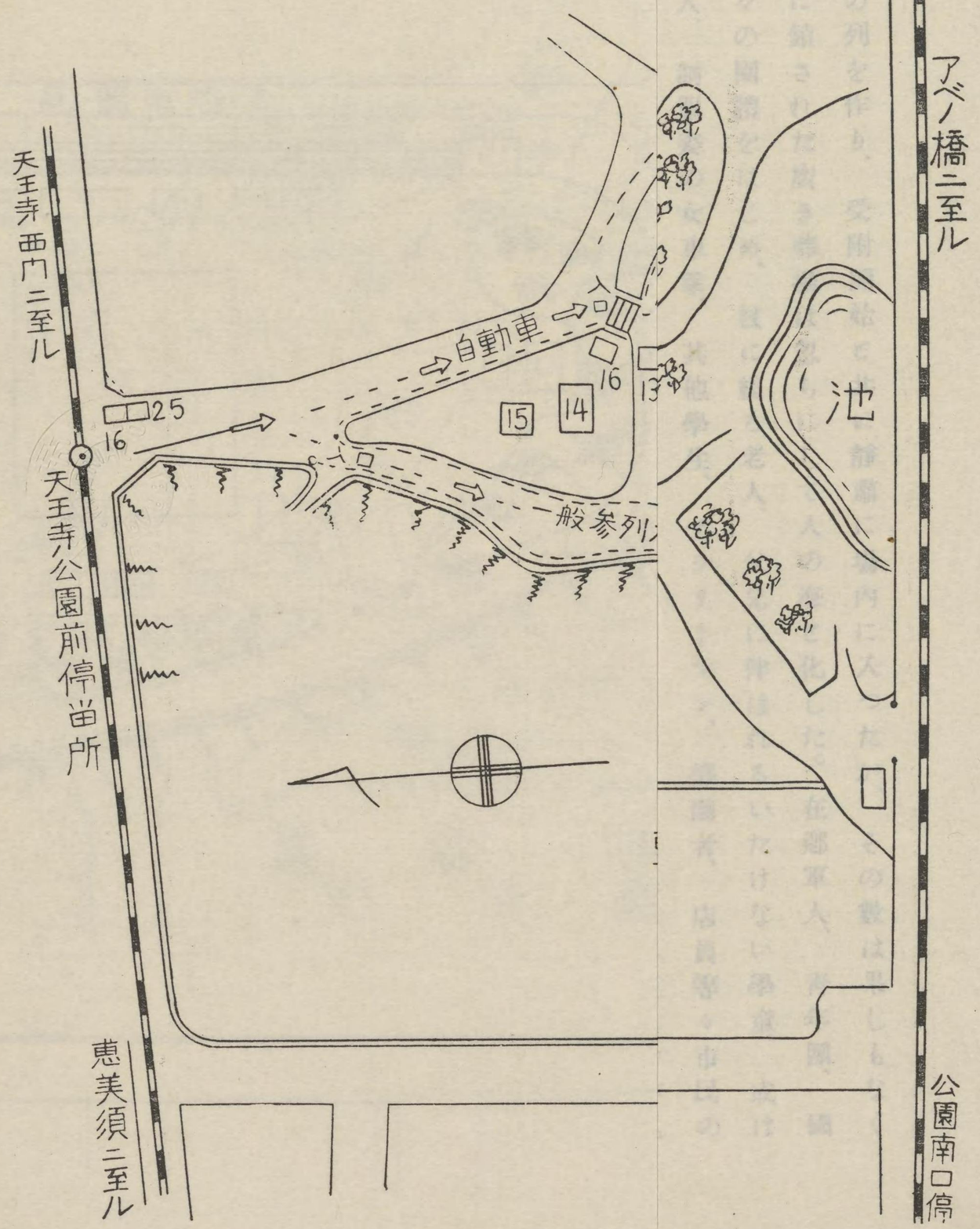
床次遞信大臣（關大阪遞信局長代讀）、貴族院（代表伯爵柳澤保惠氏）、安井大阪府知事、川畑大阪市會議長、森大阪商工會議所會頭。五大都市市長代表牛塚東京市長、五大都市市會議長代表森東京市會議長等の弔辭が讀まれ、續いて弔電の披露があつて玉串奉奠に移つた。雅樂の音蕭々と流れて哀しみ愈〻募り行く中に、齋主祭員の列拜を終り、齋主の玉串奉奠に續いて喪主關秀雄氏、祭主大阪市長代理大阪市助役加々美武夫氏、葬儀委員長大阪市會議長川畑清藏氏等の玉串奉奠あり、次いで遺族關のり夫人、關義雄氏、關和代孃、武田直秀氏、武田武子夫人、武田直和氏、清水武彥氏。清水光子夫人、親族總代武田五一氏、參列者總代大阪府知事安井英二氏、大阪市會議員總代大阪市會副議長山野平一氏の諸氏の玉串奉奠の後、參列者一同それ〴〵玉串を捧げて禮拜の上順次退席した。こゝに祭典は終始森嚴莊重に執り行はれ、午後三時三十分恙なく終りを告げて一般告別式に移つた。

一般告別式

葬場の儀が終るや、引續いて午後二時四十五分より市音樂隊の奏する「吹きなす笛」の哀調漲る樂の音と共に一般告別式に入つた。熱誠なる市民大衆は嚴冬の寒冷も厭はず、定刻前早くより押掛け、葬場入口より東は天王寺西門前、西は惠美須町まで蜒々

アベノ橋二至ル
池
公園南口停

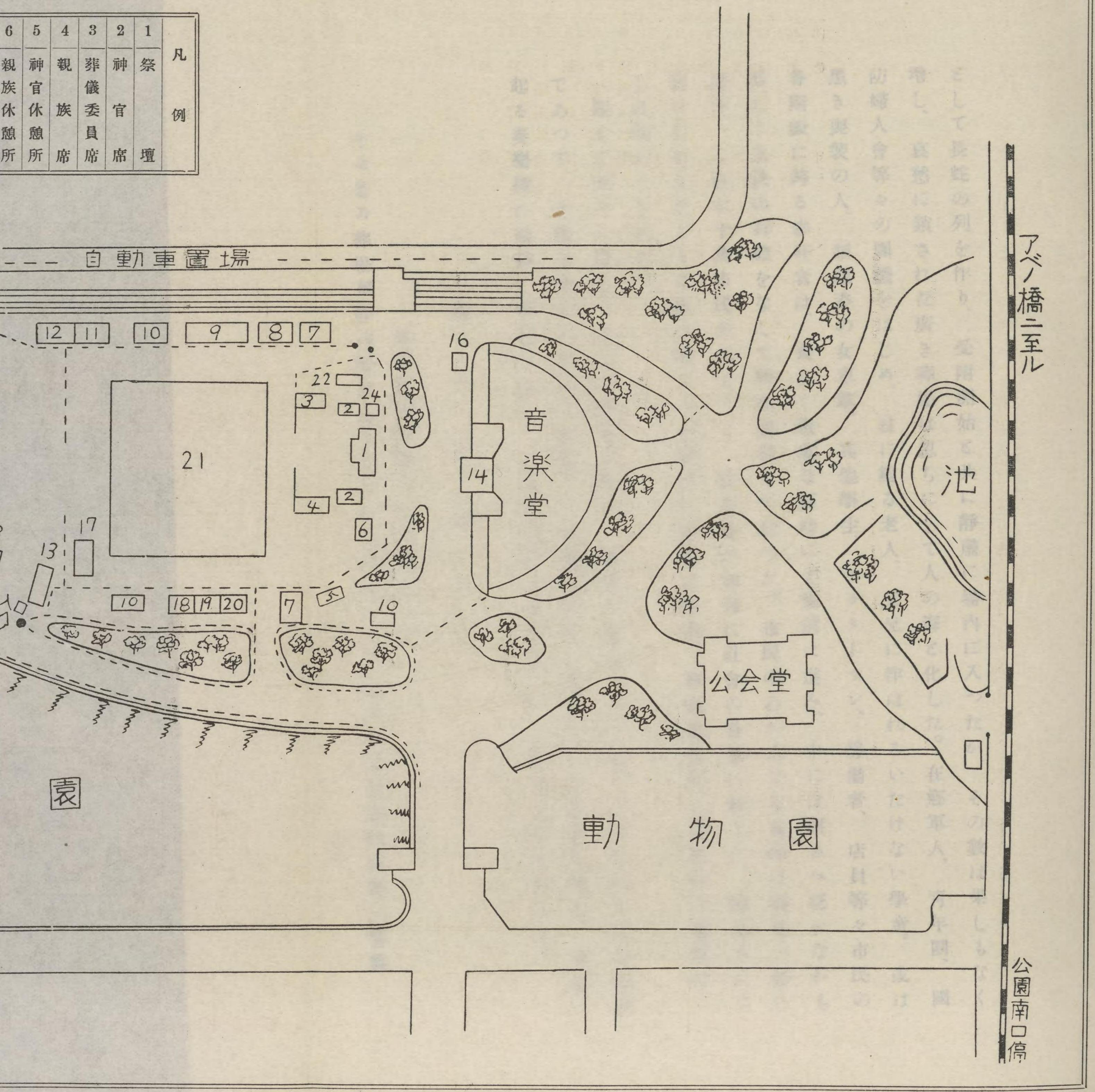
14	救護所	15	警備員席	16	案内所	17	携帶品預り所	18	湯沸場	19	發表係員席	20	新聞記者席	21	參列者席	22	特別參列者席	23	事務官席	24	放送局員詰所	25	郵便局員詰所



ず、定刻前早くより押掛け、葬場入口より東は天王寺西門前、西は恵美須町まで蜒々

故關市長葬儀式場配置圖

凡例
1 祭壇
2 神官席
3 葬儀委員席
4 親族席
5 神官休憩所
6 親族休憩所

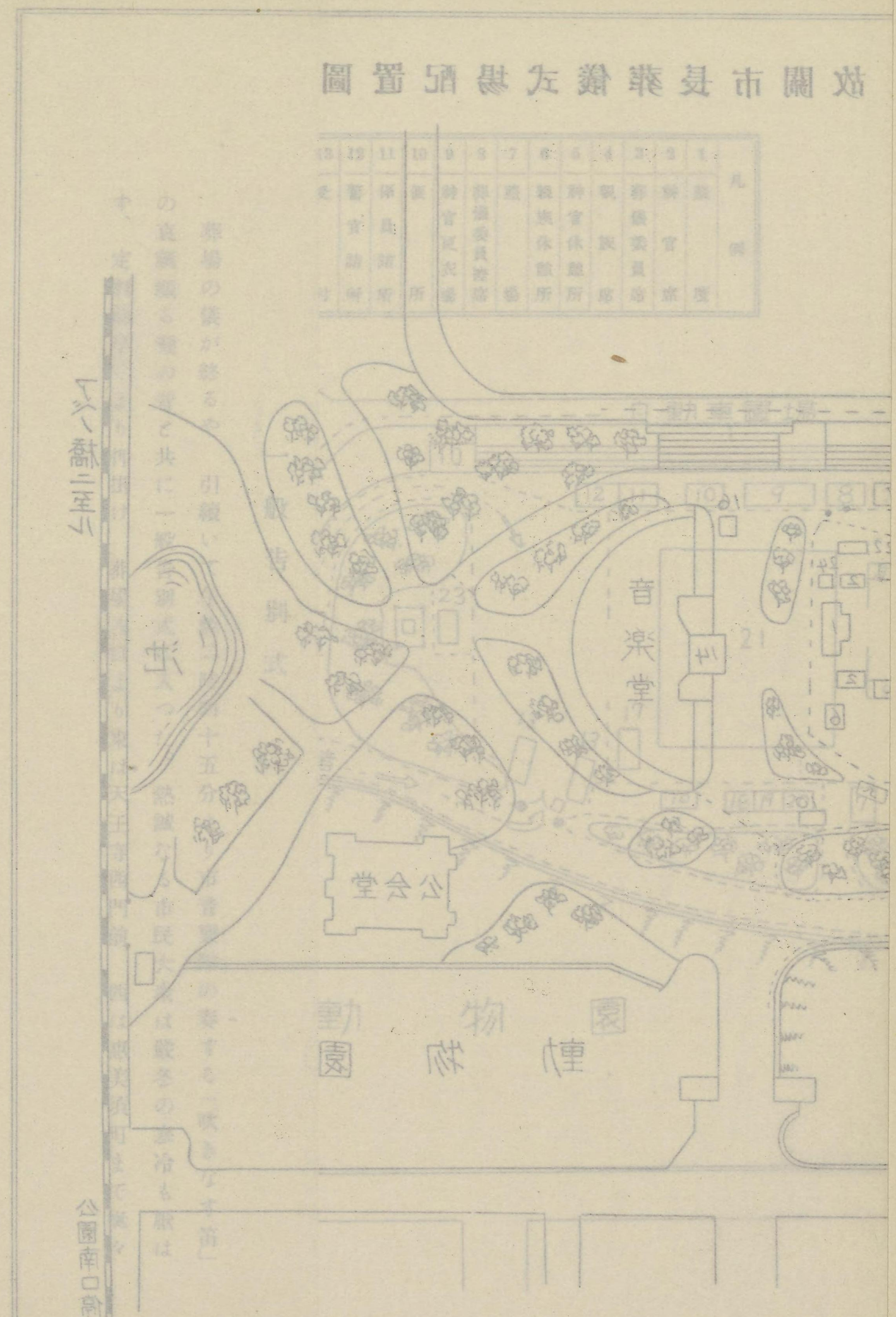


す、定刻前早くより押掛け、葬場入口より東は天王寺西門前、西は惠美須町まで蜒々

故關市長葬

凡例																									
1 祭壇	2 神官席	3 葬儀委員席	4 親族席	5 神官休憩所	6 親族休憩所	7 禮場	8 葬儀委員控席	9 神官更衣場	10 便所	11 係員詰所	12 警官詰所	13 受付	14 救護所	15 警備員席	16 案内所	17 携帯品預り所	18 湯沸場	19 發表係員席	20 新聞記者席	21 參列者席	22 特別參列者席	23 事務官席	24 放送局員詰所	25 郵便局員詰所

として長蛇の列を作り、受附開始と共に静粛に場内に入つたが、その數は果しもなく



として長蛇の列を作り、受附開始と共に靜肅に場内に入つたが、その數は果しもなく増し、哀愁に鎖された廣き葬場は忽ちにして人の海と化した。在鄉軍人、青年團、國防婦人會等々の團體をはじめ、杖に縋る老人、父兄に伴はれるいたけない學童。或は黒き喪裝の人、制服姿の女車掌、其他學生、サラリーマン、勞働者、店員等々市民の各階級に跨る參拜者は、齊しく敬虔な面持にて靈前に進み、中には涙さへ泛べながら恭しく永訣の拜禮をなして順次退場して行つた。市民の心からなる哀悼は葬場一杯に漲ひ、二百七十萬市民の父として。故市長が如何に社會の各層に親まれ、敬愛されて居たかをまざ〳〵と描き出し、祭壇前に居並ぶ祭主、葬儀委員長、遺族等の感慨を一しほ深からしめた。

斯くて刻々に増して行く參拜者の數は、無慮八萬の多きに達し、文字通りの市民葬であつて、大阪市最初の市葬に相應しく盛儀を極め、薄暮迫る午後五時過ぎ、葬場に起る奏樂裡に神饌、幣帛を撤し、午後五時四十五分滯りなく盛葬の幕を閉ぢた。

齋主祭詞

故大阪市長關一大人葬祭々詞

今之是乃葬場爾移志据倍坐世奉留言卷母忌々之支故大阪市長從四位勳三等關

一大人乃命乃柩乃御前爾大阪市乃任乃隨爾事採持知氐齋主高津宮社司正三位
子爵池尻基房謹美敬比恐美母白左久阿波禮汝命者也天性賢志久長氐波學道爾
覺志久坐志介禮婆明治二十六年爾波東京高等高業學校乃學業乎優禮氐卒倍給
比同三十年爾波早母其母校爾教授止之氐迎倍良禮夫與利文部省視學官爾或波
督學官爾兼任良禮其間白耳義國爾三年餘商業學乃研究乎依左禮明治四十年官
三等爾同四十二年正五位爾叙良禮次傳法學博士乃學位乎授介良禮給比志奈杼
次々爾昇里進美給布御力乎備倍給比志母先乃池上市長乃懇呂奈留招支爾默志
難久氐遂爾官途乎退支氐大正三年此乃大阪市乃助役爾就支給比志與利身乎致
之力乎盡之氐能久市長乎補佐介其實乎結婆之米同十二年遂爾市長乃職乎嗣支
給比志與利今日爾至留迄實爾二十餘年乃久志支爾亘利大人乃一生涯乃盛期乎
此乃市政爾捧介給比志加婆其功績也擧介氐數布留爾遑母無介禮杼其賀最著支
乎言上介氐稱奉禮婆先大阪市乃市域乎擴張米氐大都市建設乃礎乎据倍都市計
畫事業乎定米氐能久百年乃期企乎固米氐今也其事業日爾月爾進美涉利行支氐
大爾其面目乎更新牟留爾至利之乎始米止之或波大阪港乃最止振波左留乎慨多
美氐波萬障乎押退介其設備比乎全加良之米氐今日乃繁盛乎致左之米或波又代
々乃市長賀扱比難美之學區乃統一乎斷行比此賀市乃教育事業乎滑良加爾之或

波電燈株式會社乃事業乎買收米氐波市民爾大奈留利益乎得世之米又去年乃大
風水乃被害爾遇比氐波此賀復舊爾振興爾朝波東爾夕波西倍登身母棚不知爾馳

波電燈株式會社乃事業乎買收米氏波市民爾大奈留利益乎得世之米又去年乃大
風水乃被害爾遇比氏波此賀復舊爾振興爾朝波東爾夕波西倍登身母棚不知駈
廻利說巡利其計畫乎確米進米氏落都留事无久漏留々事奈久時期乎失波受勤支
勵美給比或波六大都市乃宿望奈留特別市制實施乃件爾波身乎母家乎母顧美受
專良其實現乎遂介牟止束之間母運動乃機會乎逃左自登勞支奮比鬪比給介禮婆
今之其行程爾輝支乃光乎認牟留爾至禮留奈杼其涙具麻之支御活動支登其輝介
留功績波市民波更奈利國乃內外乃人皆賀大人乃高支潔加利志犯之難支人格登
共爾仰支稱倍奉良左留曾無支左禮婆先爾波貴族院議員爾任良禮去志二十六日
爾波朝廷大人賀病篤支乎聞召給比氏特爾從四位勳三等爾叙介旭日章乎授介給
布乃畏美乎蒙利給比之曾大人賀此上奈支名譽奈留而母此乃大阪市爾氏波汝大
人乃御力爾待都可支許多乃事業乃殘禮留爾由久利奈久母計良奴病爾罹利座之
氏有登有留醫師乃術母露漏留々事奈加利之家族親族等乃厚支看護乃甲斐母淡
雪乃春乃照日爾消行久如久白波乃返良奴境爾永久乃眠登六十三歲乎此世乃限
里止隱里坐之給比志事波也甚登口惜志支加茂阿奈悲之支加茂左禮婆子等家族
親族波申須母及婆受汝大人賀下爾勞支奉利志公吏乎始米關係布諸人與利市民
乃末々爾至迄擧里氏己賀慈父乎失比志爾母增世留念比爾慨多美歎加比痛美悲

々乃市長賀扱比難美之學區乃統一乎斷行比此賀市乃教育事業乎滑良加爾之或

之美偲昆奉良久母實爾眞情爾曾有留然波有禮杼母何時迄母斯久氐在留可支爾
在良奴隨爾顯世乃定米止葬儀治奉良久登此乃大阪市賀此乃公園爾葬場乎設備
良比嚴之久神葬乃式行布登之氐大御供乎捧持知太玉串乎奉里氐永久乃御訣乃
言乃葉告奉良久乎阿波禮登受聞食氐幽世乃定乃隨爾天翔坐之氐波高天原乃神
廷爾參上里座之氐天神乃愛乃高支幸福乎受給波牟母國翔里坐之氐波汝命乃御
家乃守神此乃市乃幸神登夜乃守日乃守爾守幸倍坐世登痛美歎加比悲美都々白
左久止白須

祭主祭文

祭文

維時昭和十年一月二十六日大阪市長關一君疾ノ爲ニ溘焉トシテ卒去セラル
哀悼曷ゾ禁エン君ハ業ヲ高等商業學校ニ卒フルヤ初メ職ヲ大藏省ニ奉ジ後育
英ニ志シ敎鞭ヲ執ルコト十六年門下ニ幾多ノ俊雋ヲ出シ令名世ニ習聞ス大正
三年七月池上大阪市長ハ君ノ才學ヲ擢ンデ、大阪市助役トナス君勤勞斃ハズ
克ク市長ヲ輔佐シ周密ナル思慮高邁ナル識見ヲ以テシテ其ノ經營ヲ謬ラシメ
ズ大イニ獻替ノ功アリ當時市政上ノ大問題タリシ大阪電燈株式會社ノ買收ノ
如キ全ク君ノ猷謀ニ成ルモノニシテ港灣ノ修築都市計畫ノ樹立等是亦君ノ籌
畫ニ負フ所大ナリ

克ク市長ヲ輔佐シ周密ナル思慮高邁ナル識見ヲ以テシテ其ノ經營ヲ謬ラシメズ大イニ献替ノ功アリ當時市政上ノ大問題タリシ大阪電燈株式會社ノ買收ノ如キ全ク君ノ猷謀ニ成ルモノニシテ港灣ノ修築都市計畫ノ樹立等是亦君ノ籌畫ニ負フ所大ナリ

尋デ大正十二年十一月君ハ池上市長ノ後ヲ承ケテ大阪市長ニ就任シ既ニ三選ヲ累ネ勤續十有一年ニ迨ブ其ノ間專心大阪市ノ發展ニ終始シ一意市民ノ福祉ヲ企圖ス其ノ業績ヲ擧グレバ則チ市域ノ第二次擴張ヲ實施シテ世界的大都市ヲ大成シ學制統一ヲ斷行シテ教育行政ヲ刷新シ又力ヲ港灣ノ完成ニ致シ意ヲ市財政ノ調整ニ注ギ諸般ノ社會施設ヲ充實シ都市計畫事業ヲ進展シ或ハ產業ニ或ハ保健ニ其ノ蘊積セル經綸ト卓絶セル手腕トヲ發揮シ特別市制ノ實施ニ邁進シタル等是ナリ大大阪市今日ノ隆昌ヲ見タルハ蓋シ君ノ功績ニ因ル所甚ダ多シ君ノ勞劬ヤ切且厚ナリト謂フベシ君ガ前後二十一年間我ガ大阪市ニ盡シタル功業不績ハ曩ニ認メラレテ貴族院議員ニ勅任セラレ而シテ君ノ學識德望ハ夙ニ洽ク識ラレテ各種委員會諸團體ノ重任ニ推サレ其ノ貢献スル所亦鮮シトセズ君ノ在任中謹嚴己ヲ持シ勵精衆ヲ率キタル崧タル高風赫タル行迹ハ一般ノ齊シク敬慕スル所殊ニ客秋ノ風水害ニ際シ寢食ヲ廢シタル勤敏ト危篤ノ病褥ニ在リテモ尙且市政ヲ忘レザリシ熱誠トハ市民ノ深ク感銘スル所ニシテ君ノ壽カラランコトヲ冀ヒ君ニ待ツモノ實ニ多カリシニ一朝疾ニ仆レ遂ニ

簀ヲ易ヘラル噫悵恨悲痛安ンゾ之ニ加ヘン

君ノ訃一タビ天聽ニ達スルヤ畏クモ君ガ生前ノ功勞ヲ嘉セラレ勳三等ニ晉ミ旭日中綬章ヲ授ケ從四位ニ叙シ特別ノ思召ヲ以テ祭資ヲ賜ハルノ光榮ナルノミナラランヤ

大阪市ハ君ノ本市ニ盡シタル不滅ノ勳績ヲ頌シ茲ニ特ニ市葬ノ禮ヲ以テシ君ノ靈位ヲ公廟ニ奉ジ尊俎庶羞ノ奠ヲ布キ齊遫以テ禋リ祀ル君ノ英靈希クハ居ンジ歆ケタマハンコトヲ

昭和十年二月一日

大阪市長代理大阪市助役　加々美武夫

弔辭弔電

弔辭　當日各方面より贈られたる弔辭は百通の多きに上つたが、うち岡田首相以下十通のみを朗讀し、他は省略して靈前に供奠した。左記に朗讀したる弔辭の全文を掲げ、他はその氏名のみを擧ぐ。

大阪市長貴族院議員從四位勳三等法學博士關一君市政ヲ宰スルコト十有二年庶績咸ナ熙マリ市ハ其ノ面目ヲ一新シ市民ハ悅服シテ令聞高カリシニ頃者病ヲ獲溘焉トシテ長逝セラル曷ソ痛悼ニ勝ヘム

年庶績咸ナ熙マリ市ハ其ノ面目ヲ一新シ市民ハ悦服シテ令聞高カリシニ頃者病ヲ獲溘焉トシテ長逝セラル曷ソ痛悼ニ勝ヘム

今ヤ邦家内外多艱ノ秋ニ方リ商工都市ノ冠冕タル大阪市ノ治務愈〻擧カリ市民其ノ慶福ヲ享ケ國運ノ進暢ニ貢献スル所益〻大ナリシニ市ハ遽ニ其ノ倚頼セル名市長ヲ喪フ此レ豈ニ獨リ市ノ巨大ナル損失タルノミナラテムヤ洵ニ又邦家進運ノ一大恨事タリ是レ予ノ特ニ痛惜措ク能ハサル所ナリ市ノ待ツニ市葬ノ禮ヲ以テスルモノ亦偶爾ニアラストイフヘシ乃チ葬禮ニ際シ謹ンテ哀悼ノ意ヲ表ス希クハ亨ケヨ

昭和十年二月一日

内閣總理大臣　岡田啓介

故從四位勳三等法學博士關一君ハ大阪市長トシテ名聲夙ニ全國ニ籍甚ス君ヲ喪フ獨リ大阪市ノミノ不幸ニ止マラサルヘシ君明治二十六年高等商業學校ヲ出テ爾來神戸新潟東京ノ地ニ於テ商業學ノ教職ニ當ルコト十有七年其ノ間白國ニ留學シテ商業教育ヲ研究シ佛國ニ於ケル萬國實業教育會ニ出席ヲ命セラレ歸朝後文部省視學官ヲ兼任スル等我國商業教育界ニ貢献シタル所尠カラ

大阪市長貴族院議員從四位勳三等法學博士關一君市政ヲ宰スルコト十有二

ス

大正三年大阪市助役ニ就任職ニ在ルコト九年衆望ヲ衆メテ同十二年十一月大阪市長ノ重職ヲ荷ヒ三選十二ケ年ニ及フ君資性重厚而モ市ノ爲ニ圖リテ利アリト信スル所斷シテ之ヲ行フ學區ノ廢止市域ノ大擴張大阪港ノ修築都市計畫事業ノ遂行電氣事業ノ統制社會政策交通政策其ノ公利公益ヲ增進シ市政ノ進展ニ盡瘁シタル功勞洵ニ大ナルモノアリ君ハ更ニ此ノ間幾多公私ノ機關ニ關與シ貢獻スル所甚タ多ク昭和九年七月特ニ貴族院議員ニ勅選セラル邦家今方ニ非常ノ秋君ノ如キ偉材ヲ喪フ痛惜焉ンソ勝エン然リト雖君カ多年商業教育界ニ竭サレタル勞效ト地方自治行政上ニ貽サレタル功績トハ長ヘニ燦トシテ輝クヘシ茲ニ虔ンテ哀悼ノ至忱ヲ表ス

昭和十年二月一日

内務大臣　後藤文夫

大阪市長貴族院議員從四位勳三等關一君俄ニ病ヲ得テ長逝セラル君大阪市政ニ盡瘁セラルヽコト實ニ二十有餘年ニシテ尚益〻君カ人格手腕ニ俟ツ所頗ル多カリシニ今圖ラスモ其ノ訃ニ接ス洵ニ哀悼ノ至リニ堪ヘス謹ミテ弔詞ヲ呈

ス

昭和十年二月一日

政ニ盡瘁セラルヽコト實ニ二十有餘年ニシテ尚益〻君カ人格手腕ニ俟ツ所頗ル多カリシニ今圖ラスモ其ノ訃ニ接ス洵ニ哀悼ノ至リニ堪ヘスス謹ミテ弔詞ヲ呈ス

昭和十年二月一日

大藏大臣　高橋是清

大阪市長關一氏ノ逝去セラレマシタコトハ、洵ニ哀惜ニ堪ヘマセヌ。

氏ハ多年大阪市助役及市長ノ要職ニ在リテ市政ニ盡瘁セラレ、自治行政上多大ノ功績ヲ遺サレマシタ。殊ニ氏ノ卓越セル識見ト手腕トハ、市營ノ電氣供給竝電氣鐵道事業ヲシテ、今日業界ニ誇ルベキ成績ヲ擧グルニ至ラシメ、電氣委員會ノ設置セラルルニ當ツテハ其ノ委員トナラレテ我國電氣事業ノ統制ニ力ヲ盡サレ、又大阪飛行場ノ設置ニ際シテハ、用地其ノ他ニ關シ種々斡旋ニ努メ、航空事業ノ發達ニ寄與セラルル等其ノ功勞顯著ナルモノガアルノデアリマス。今ヤ我國ハ内外共ニ頗ル多事デアッテ、氏ノ抱負經綸ニ俟ツベキモノ益〻多キヲ加フルノ秋ニ際シテ、氏ノ如キ偉材ヲ喪ッタコトハ、獨リ大阪市ノ爲ノミナラズ邦家ノ爲一大損失ト申サネバナリマセヌ。

茲ニ氏ノ柩ヲ送ルニ當リ、謹ミテ生前ノ功績ヲ偲ビ御冥福ヲ祈ル次第デアリマス。

昭和十年二月一日

遞信大臣　床次竹二郎

貴族院ハ議員失業對策委員會委員中央職業紹介委員會委員瓦斯事業委員會委員電氣委員會委員鐵道運賃審議會委員大阪市長正五位勳四等關一君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔辭ヲ呈ス

昭和十年一月二十八日

貴族院

維時昭和十年一月二十六日大阪市長法學博士關一君溘焉トシテ卒去セラル君ノ病ニ臥スヤ專門ノ名醫直ニ馳セテ枕頭ニ侍シ親舊夙夜其ノ回春ヲ祈リ人事咸ク盡シ來リテ遂ニ天命ノ如何トモスヘカラサルニ會ス嗚呼哀哉遠近內外ノ人其ノ訃ヲ聞キテ皆痛惜セサルモノナシ是レ其ノ功績夙ニ世ニ顯ハレ其ノ積德遍ク人ニ及ヒテ敬慕ノ情自ラ禁スヘカラサルモノアレハナリ

余久シク君ノ名聲ヲ聞キ親シク其ノ人格ニ接シテ欽敬措ク能ハス今回本府ニ知トナリ更ニ誼ヲ重ネ將來各般ノ政務ニ關シ公私其ノ力ニ賴ラント欲スルモノ頗ル多シ料ラサリキ今日遽カニ君ト幽明ヲ隔ツルニ至ラントハ陰雲漠々天爲メニ愁ヲ含ミ簫聲沈々心爲メニ悲ヲ帶フ嗚呼哀哉

余久シク君ノ名聲ヲ聞キ親シク其ノ人格ニ接シテ欽敬措ク能ハス今回本府ニ知トナリ更ニ誼ヲ重ネ將來各般ノ政務ニ關シ公私其ノ力ニ賴ラント欲スル

モノ頗ル多シ料ラサリキ今日遽カニ君ト幽明ヲ隔ツルニ至ラントハ陰雲漠々

天爲メニ愁ヲ含ミ簫聲沈々心爲メニ悲ヲ帶フ嗚呼哀哉

君資性寬厚ニシテ弘毅學識高邁尤モ經世濟民ノ念深ク始終一節至誠事ニ當リ輿望一身ニ萃マル明治二十六年七月東京高等商業學校卒業後一時大藏省ニ入リ轉シテ敎育界ニ在ルコト十七年大正三年大阪市助役ニ就任シ池上市長ヲ輔佐シテ成績ヲ擧ケ大正十二年更ニ市長ノ重職ニ推サレ三選シテ今日ニ至リ前後二十二箇年ノ久シキニ亙リ一意大阪市政ノ向上進展ニ盡瘁シテ多大ノ功績アリ特ニ大阪市多年ノ懸案タル市域ノ擴張學區ノ統一ヲ斷行シ或ハ社會事業ノ完備電燈電力ノ市營並都市計畫事業ノ遂行大阪港修築ノ完成ニ努力シ產業貿易ノ增進保健衛生ノ設備等細心周到ノ注意ヲ拂ヒ以テ大阪市今日ノ昌大ヲ爲サシメ更ニ昨秋ノ暴風水害ニ際シテハ其ノ復舊復興事業ニ挺衆獻身ノ勞ヲ效シ又劇務ノ間ニ於テ帝國復興院評議員會議員帝國經濟會議々員ニ任セラレ其ノ他社會事業調查會鐵道會議瓦斯事業委員會中央職業紹介委員會失業對策委員會鐵道運賃審議會等幾多ノ委員ニ推サレ我國各種施設ノ向上進展ニ盡瘁セシ所枚擧ニ遑アラス其ノ功績洵ニ顯著ナルモノアリ危篤ノ報天聽ニ達スルヤ朝廷特ニ其ノ功ヲ錄シ從四位ニ昇叙シ勳三等旭日中綬章ヲ授

ケラル洵ニ故アリト謂フヘシ

今ヤ國家重大ノ事件簇出シ我カ大阪ノ復興事業亦眼前ニ横ハリ君ノ深慮英斷ニ待ツモノ甚タ多ク内外ノ翹望市民ノ思慕共ニ切ナルモノアリ底事ソ獨リ白玉樓中ニ入リテ去ラル悲痛何モノカ之ニ加ヘン

嗚呼幽魂一タヒ去リテ遂ニ還ラサルモ音容ハ髣髴トシテ永ヘニ親舊ノ心裡ニ生キ名市長ノ遺業ハ嶷然トシテ廣ク社會ノ根柢ヲ培ヒ以テ龜鑑ヲ不朽ニ傳フヘシ今君カ葬ヲ送ルニ臨ミ新愁綿々トシテ悼意盡クルナシ空シク高風ヲ蒼茫ニ望ミ聊カ悲懷ヲ蕪章ニ寄ス惟タ祈ル英靈昭カニ格リテ此ノ微忱ヲ鑒ミラレンコトヲ尚クハ饗ケヨ

昭和十年二月一日

大阪府知事　安井英二

嗚呼悲シイ哉二百七十萬市民ノ父トシテ當代不世出ノ名市長關一君生涯ヲ大阪市ニ捧ケ絶倫ノ精力天稟ノ才克ク萬難ヲ克服シテ市政ノ發展市格ノ向上ニ毅然邁往シツヽアリシニ何ノ不幸ゾ突如病ヲ獲市民ノ平癒祈願哀惜敬慕ノ情モ空シク溘焉トシテ幽明境ヲ異ニセラル昨是今非夢ノ如ク痛恨悲傷極マル

所ヲ知ラザルナリ

君謹嚴寡默ニシテ廣量大度淸廉高潔ナル人格ト高邁豐富ナル識見トハ自治

ニ毅然邁往シツヽアリシニ何ノ不幸ゾ突如病ヲ獲市民ノ平癒祈願哀惜敬慕ノ情モ空シク溘焉トシテ幽明境ヲ異ニセラル昨是今非夢ノ如ク痛恨悲傷極マル

所ヲ知ラザルナリ

君謹嚴寡默ニシテ廣量大度淸廉高潔ナル人格ト高邁豐富ナル識見トハ自治行政界ノ最高峯トシテ本邦ニ其ノ類ヲ絶シ關心竭力只コレ自治濟民ニ精進シテ庶政維レ揚ガリ市勢頓ニ進展ス其ノ偉績炳焉トシテ仰グベキモノアリ卽チ大正三年以來本市ニ助役市長タルコト二十餘年其ノ偉大ナル足跡ハ其ノ施設經營ノ實績ニ徵シテ知ルベク市域ノ擴張學制ノ統一大電買收大阪港ノ修築都市計畫事業ノ遂行中央市場ノ開設社會事業ノ振興高速鐵道ノ建設美術館ノ創設商科大學ノ開設等其ノ功績擧ゲテ數フベカラズ然リ物的施設ノ完備整成ハ其ノ畛域ニ達シタリト雖モ畫龍點睛ハ實ニ市格ノ向上確立ニアリ而シテ今ヤ本市ガ儼然タル市格ヲ存シテ矜恃タルモノ實ニ本市民ノ自覺ト君ガ高朗ナル人格トノ融合調和ヨリ出デ來リタルヲ確信セズンバアラズ君ガ正義感ノ强烈ニシテ國士ノ風格屈スベカラザル信念ト强靱ナル迫力加フルニ其ノ學者的良心情味豐カナル人間關ノ琴線コソハ克ク和平圓滿ノ裡ニ市政ヲ運行セシメ其ノ成果ヲ成就セシメタルモノト謂フベシ

君マタ各種ノ委員議員ヲ仰付ケラレ更ニ昨年貴族院議員ニ勅任セラレ國家國政ニ參畫シ其ノ財政經濟的ノ手腕及ビ文敎ノ刷新地方制度ノ改革等ハ將來

君ガ奮闘ニ期待セラルヽヤ甚ダ大ナルモノアリ殊ニ本市交通機關ノ統制特別市制促進運動ニ於ケル君ノ高邁ナル卓見熱烈ナル運動ハ吾人驥尾ニ附シテ敬仰已マザル所ナリキ

客歳稀有ノ大風水害突發スルヤコレガ復舊復興ニ心血ヲ濺ギ東奔西走眞ニ寧日ナク計成リ業將ニ實施ニ入ラムトシテ本市ノ前途マタ多難ナル秋高士曷ゾ斯ク迅クハ逝ケル六十三歳捧ゲ盡シテ大阪市更生ノ犧牲トナル寔ニ本市ノ一大打撃タルノミナラズマタ國家ノ一大損失ト謂フベキナリ

事天聽ニ達スルヤ畏クモ從四位勳三等ニ陞叙旭日中綬章ヲ授ケラレ祭資ヲ下賜セラル聖恩枯骨ニ榮アリト謂フベシ古人曰ク棺ヲ掩フテ後事定マルト君ヲ想フテ斯ノ言ノ益〻切ナルヲ覺エズンバアラザルナリ後世自治行政上ノ龜鑑ト仰ガルヽ君ガ偉績宏業マタ大阪市ト共ニ消セザルベシ英靈ヲ以テ瞑スベキナリ惻々天ヲ仰イデ惆悵哀惜ノ情ニ堪ヘズ虔ミテ哀悼ノ微忱ヲ捧グ尚クハ饗ケヨ

昭和十年二月一日

葬儀委員長　大阪市會議長　川畑清藏

維時昭和十年二月一日故大阪市長從四位勳三等關一氏ノ英靈ニ告ク氏資性眞摯溫良ニシテ人格高潔清廉事ニ當ルニ熱誠ヲ旨トス大正三年大阪市ニ就任

維時昭和十年二月一日故大阪市長從四位勳三等關一氏ノ英靈ニ告ク氏資性眞摯溫良ニシテ人格高潔淸廉事ニ當ルニ熱誠ヲ旨トスシ爾來助役トシテ九年市長トシテ十二年ノ長キニ及ヒ此ノ間博學ト卓見トヲ以テ市政ニ盡瘁シ幾多ノ功績ヲ擧ケラル我カ大阪カ世界的重要都市トシテ今日ノ隆昌ヲ來セシハ氏ノ努力ニ負フ所最モ大ナルモノアルハ內外人ノ周知スル所ナリ宜ヘナル哉客年朝廷氏カ我國自治制ノ發達ニ於ケル功勞ヲ嘉ミシ貴族院議員ニ勅任セラレ今亦氏カ訃音一度天聽ニ達スルヤ更ニ敘位勳ノ恩命ヲ賜ヒ生前ノ功績ヲ賞セラル洵ニ家門ノ榮譽ニシテ以テ其ノ偉績ヲ察知シ得ヘシ今ヤ內外多事多端ニシテ殊ニ本市復興事業ノ未タ全ク成ラサルニ此ノ如キ名市長ヲ喪フハ啻ニ我大阪ノミナラス眞ニ國家社會ノ一大損害ト謂フヘシ嗚呼悲シイ哉爰ニ大阪商工會議所ヲ代表シ恭シク哀悼ノ誠意ヲ捧ク尙クハ來リ享ケヨ

昭和十年二月一日

大阪商工會議所會頭　森　平兵衞

大阪市長關一君溘焉トシテ長逝セラル惋惜哀悼ノ至ニ堪ヘズ君ハ夙ニ志ヲ

立テテ商業ノ學ヲ修メ各地ニ歷任シテ育英ノ事ニ從ヒ更ニ歐洲ニ留學シテ研鑽ヲ積ミ法學博士ノ學位ヲ授ケラレ大正三年七月聘セラレテ大阪市助役ニ就任スルヤ名聲頓ニ揚リ遂ニ推サレテ大阪市長トナル爾來在任十二年愈〻衆望ヲ萃メテ地方自治ノ發達ニ貢獻スルコト極メテ大ナリ宜哉昨年七月特ニ勅選セラレテ貴族院議員トナリ兼ネテ國政ニ參與スルノ榮譽ヲ擔フ今又君ノ訃天聽ニ達シテ生前ノ勳功ヲ錄セラレ特ニ位勳陞叙ノ殊遇ヲ賜フ君ノ光榮洵ニ極マレリト謂フベシ

君資性篤厚ニシテ精力人ニ優レ卓越セル學識才幹ヲ以テ實ニ二十有餘年ノ久シキニ亙リ拮据經營多難ノ市政ニ盡瘁シテ能ク大大阪今日ノ繁盛ヲ致セリ寔ニ君ハ未ダ曾テ類例ヲ見ザル自治功勞者ニシテ又容易ニ得ベカラザル大阪市ノ代表者ナリ現下我國ニ於ケル大都市行政ハ刷新更張ヲ要スルコト頗ル切ニシテ君ノ力ニ待ツモノ甚ダ多カリシニ今ヤ卒然トシテ君ヲ喪フ是レ啻ニ大阪市ノ不幸ノミニ止マラザルナリ本日市葬ヲ以テ送葬ノ禮ヲ行ハルルニ當リ東京市並ニ京都橫濱神戸名古屋ノ各市ヲ代表シテ親シク靈前ニ頓キ謹ミテ深厚ノ弔意ヲ表ス

昭和十年二月一日

東京市長　牛塚虎太郎

大阪市長從四位勳三等貴族院議員法學博士關一君溘焉トシテ長逝セラル痛

厚ノ弔意ヲ表ス

昭和十年二月一日

東京市長　牛塚虎太郎

大阪市長従四位勲三等貴族院議員法學博士關一君溘焉トシテ長逝セラル痛惜ノ情洵ニ極リナシ

君ハ資性明敏夙ニ令名アリ大正三年七月入リテ大阪市助役トナルヤ其卓抜ナル識見ト高邁ナル抱負トヲ以テ大阪市政ヲ扶ケ大正十二年遂ニ全市民ノ輿望ヲ負フテ市長ニ就任シ再選又三選其ノ逝去ニ至ルマデ實ニ十有一年精到セル學識ト全幅ノ熱情トヲ傾ケテ著々トシテ其ノ抱負ヲ實現シ萬般ノ治績擧ラザルナシ

實ニ大阪市ガ今日ノ大ヲ矜リ帝國商工業ノ心臓トシテ世界的大都市ノ威容ヲ張ルモノ君ガ企畫經營ノ功ニ負フモノ擧ゲテ計フベカラザルナリ

抑モ大都市行政ノ多岐至難ナル之ヲ恢理シテ毫モ凝滯スル所ナク治績ヲ擧グルコト前後二十一年ノ永キニ及ベルモノ圓滿人格練達ノ手腕實ニ君ノ如クナルニ非ズンバ、誰カ克ク之ヲ庶幾スルヲ得ン宜ナル哉之ガ治績ヲ以テ貴族院議員ニ擧ゲラルルノ榮ヲ擔ハルヤ

然ルニ昨秋突如トシテ襲ヒタル大風水禍ハ空前ノ大災害ニシテ君不屈不撓ノ努力ヲ以テ之ガ對策ニ腐心シ復興ノ業近ク其ノ緒ニ就カントスルトキ不幸會心ノ業績ヲ見ズシテ逝ク君ノ心情察スルニ忍ビザルナリ更ニカノ特別市制

問題ノ如キ之ガ解決ニ當リテ君ノ學識經驗ニ俟ツコト最モ大ナルモノアリシニ旻天無情遽然トシテ君ガ壽ヲ奪ヒテ去ル豈單リ大阪市ノ大損失タルノミナランヤ而モ市ト國トハ寸刻モ君ガ心頭ヲ去ラザリシ所ニシテ病床ニ呻吟シテ猶且之ヲ忘レザリシガ如キ君ヲ知ル者誰カ萬斛ノ熱涙ヲ注ガザラン

今ヤ寒氣酷烈天地蕭條タルノトキ全市民ノ哀惜裡ニ君ノ長逝ニ遭フ痛恨轉タ切ナルヲ覺ヘズンバアラズ然レドモ君ガ心血ヲ濺ギタル幾多ノ企圖ハ君ガ熱愛セル大大阪市ノ興隆ト共ニ耀彩ノ美化ヲ開キ君ガ不滅ノ功績ト愛市ノ熱情トハ永久ニ市民ノ追憶ト敬仰ノ念ニ生クベキコト毫モ疑ヲ容ルルナシ君又以テ憾ミナカルベキナリ茲ニ君ガ大阪市葬ニ臨ミ痛惜ノ至リニ堪ヘズ東京京都神戸横濱名古屋ノ五都市市會議長ヲ代表シテ謹ミテ弔意ヲ表ス

昭和十年二月一日

東京市會議長　森　俊成

其他朗讀を略し靈前に供せられたる弔辭（順序不同）

日本赤十字社々長正二位勳一等公爵徳川家達　恩賜財團濟生會々長正二位勳一等公爵徳川家達　愛國婦人會長本野久子　大阪府會議長辻阪信次郎　朝鮮總督府政務總監今井田清徳　大阪市學務委員長淺利弘次郎　東京商科大學長佐野善作　日本國際協會々長子爵石井菊次郎　大阪市教育會

日本赤十字社々長正二位勳一等公爵徳川家達　愛國婦人會長本野久子　大阪府會議長辻阪信次郎　朝鮮

總督府政務總監今井田清徳　大阪市學務委員長淺利弘次郎　東
佐野善作　日本國際協會々長子爵石井菊次郎　大阪市教育會
長總代大阪市城東小學校長正七位勳七等石井倉三郎　大阪市小
事長原谷四郎一　大阪市立中等學校長總代堀口米次郎　大阪市
阪市學校歯科醫會　大阪市保育會　大阪遠足聯盟　大阪市聯合處女會　大阪
市聯合青年團　大阪體育協會　大阪都市協會　近畿陸上競技會々長春日弘
大阪市神職會　大阪國學院長鈴木省吾　大阪市醫師會長薄恕一　大阪市美術
協會代表白川朋吉　大阪市町內會聯合會代表吉倉巳之助　大阪
合會長中山太一　大阪市政記者團　市政研究會　社團法人大阪經濟會　大阪
府市町村長會長礒村彌右衛門　大阪府工藝協會長兒玉孝顯　浪速工業會理事
長林作三　大阪實業協會々長代理理事泉仁三郎　大阪尚志會
阪軍人援護會理事堀啓次郎　如水會大阪支部長島專吉　東京商科大學一橋會
端艇部四神會代表者木村賢治　大阪每日新聞社會事業團理事長奥村信太郎
大阪商科大學長河田嗣郎　關門會總代大阪商科大學教授田崎仁義　大阪市十
三尋常小學校職員兒童一同　岸和田市長川崎正一　岸和田市會議長覺野勝三
郎　水道協會長東京市長牛塚虎太郎　帝國鐵道協會長古川阪次郎　日本海員

掖濟會理事長水野錬太郎　大阪手形交換所委員長八代則彦
支部長吉川吉郎兵衛　有恒倶樂部理事長飯尾一二　大阪ロータリ倶樂部會長
河田嗣郎　淀川右岸水害豫防組合議長池永元治郎　淀川左岸水害豫防組合議
長寺西圓治郎　明治天皇聖蹟保存會長侯爵西郷從德　明治天皇聖蹟保存會大
阪支部長安井英二　堺商工會議所會頭辻本豊三郎　財團法人天王寺女學校長
木下寂善　天王寺區民代表天王寺區長栗岡松次　全國都市問題會議　新潟縣
立新潟商業學校同窓會長一柳學俊　財團法人東京市政調査會々長男爵阪谷芳
郎　名古屋市長大岩勇夫　大阪商科大學同窓會委員長横尾孝之亮　神戸市長
勝田銀次郎　天王寺師範學校内社團法人友松會長淺賀辰次郎　明治大學總長
鵜澤聰明　明治大學校友會　寺田濟美館　大阪府女子師範學校内常磐會總代
西脇リカ　神戸市會議長前田二一六　大阪帝國大學總長楠本長三郎　社團法
人瓊池會代表永井久胤　チエツコスロバキア總領事　大阪實業組合聯合會々
長中山太一　大阪市中央卸賣市場仲買組合聯合會々長尾崎德太郎　大阪市農
會副會長有山福重郎　大阪銀行集會所會長中根貞彦　日本旅行協會　國粹義
勇飛行隊長笹川良一　日本建築協會々長工學博士片岡安　大阪商品研究會
神道第六區大阪教區會常任幹事正八位水野伯峰　大日本武德會々長從二位勳

一等功二級鈴木荘六　成田山大阪別院　大阪市神津青年團長北浦純一　大阪
洋酒食料品同業組合長外山貞三郎　日本ゼネラルモータース株式會社　石本

一等功二級鈴木莊六　成田山大阪別院　大阪市神津青年團長北浦純一　大阪洋酒食料品同業組合長外山貞三郎　日本ゼネラルモータース株式會社　石本寛吾　石原憲治　大阪市婦人聯合會

弔電　宇垣朝鮮總督、町田商工大臣、山本男爵、若槻男爵、財部海軍大將、菱刈陸軍大將、荒木陸軍大將、滿洲國外交部大臣謝介石氏、以下六百餘通に達する弔電は朗讀を略し、弔辭と共に一括靈前に供した。

供花献榊者

供花、献榊者は畏れ多くも東伏見宮家、東久邇宮家を始めとし奉り、左記の如くであつた。（受付順）

東伏見宮家　東久邇宮家　三井物産株式會社　中村幸助　滿洲國民政部大臣臧式毅　天王寺區天王寺第一第二方面委員　阪和電氣鐵道株式會社　阪和電氣鐵道株式會社々長木村清　大日本紡績株式會社　關西大學　東京帝國大學總長癌研究會々頭長與又郎　阪神急行電鐵株式會社　小林一三　浪速瓦斯株式會社　貴族院議員飛島文吉　關西中央新聞社　鐵道大臣內田信也　大阪市民日報社　大阪新日報社　貴族院議員小倉正恒　株式會社三和銀行　株式會社安田銀行　株式會社新大阪ホテル　朝鮮總督社野村銀行

勇飛行隊長笹川良一　日本建築協會々長工學博士片岡安　大阪商品研究會神道第六區大阪教區會常任幹事正八位水野伯峰　大日本武德會々長從二位勳

府總務局長池田清　大阪帝國大學總長　大阪交通安全協會　帝國在鄉軍人會第四師管聯
合支部　內務大臣後藤文夫　日本電力株式會社々長池尾芳藏　山田穆　夕刊大阪新聞社、
日本工業新聞社　大阪愛市會　三菱商事株式會社　株式會社太洋軒　帝國在鄉軍人會天
王寺區聯合分會　淀川左岸水害豫防組合、淀川右岸水害豫防組合　坂野鐵次郎　株式會社
住友銀行　大阪鐵道株式會社　大阪鐵道株式會社々長佐竹三吾　男爵住友吉左衞門　大
阪市會議長川畑清藏、同副議長山野平一　朝鮮憲兵隊司令官難波光造　大阪憲兵隊長三浦
惠一　大林義雄　大阪都市協會、大阪綠化會　忠勇顯彰會　大阪市土地整理協會　大阪府
會議長辻阪信次郎　大阪商工會議所　貴族院議員稻畑勝太郎　大阪市神職會　大阪國學
院　明治天皇聖蹟保存會々長侯爵西鄉從德　明治天皇聖蹟保存會大阪支部長安井英二
財團法人大阪市勞働共濟會　有限責任大阪市昭和信用組合　日本郵船株式會社大阪支店
長莊田雅雄　大阪夕刊新聞社　國本社會長男爵平沼騏一郎　阪神電氣鐵道株式會社　日
本國際協會々長子爵石井菊次郎　大阪尙志會役員一同　南海鐵道株式會社　南區公同委
員會、南區聯合會　南區國防思想普及會　南區聯合教化委員會　南區會
書委員一同　三菱倉庫　大阪日々新聞社、關西日報社　中外商業新報社、大阪中外商業新報
社　北濱鳳月堂　南菱富　魚利樓　澤之鶴石崎株式會社　島之內湖
月堂　有馬賴吉　財團法人大阪府方面委員後援會　男爵山本達雄　大阪社會事業聯盟、大
阪乳幼兒保護協會　社團法人電氣協會理事幹事一同　如水會　如水會大阪支部　東京商
科大學一橋會端艇部、同四神會　大阪商科大學　大阪商科大學同窓會　久保田權四郎　貴

科大學一燏會端艇部同四神會　大阪商科大學　大阪商科大學同窓會　久保田權四郎　貴
族院議員柴田善三郎　東京商科大學長佐野善作　區劃整理協會全國聯合會　大阪時事新
報社　市政記者俱樂部　大阪市參與助役　大阪市收入役副收入役秘書課長　大阪市區長
一同　大阪市廨長一同　兒玉孝顯　愛國婦人會大阪府支部　社團法人大阪實業組合聯合
會長中山太一　大阪市衞生組合聯合會中山太一　高島屋社長飯田新七　朝鮮總督府政務
總監今井田清德　日本生命保險株式會社々長弘世助太郎　財團法人日本生命濟生會理事
長弘世助太郎　報效會　報效會支部大阪軍人援護會　大阪市教育會　日本電報通信社大
阪電報通信社　社團法人ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー日本旅行協會　少年保護婦人協
會大阪支部　天野利兵衞　大同電力株式會社　增田次郎　帝國在鄉軍人會財團理事長中
野直枝　大阪市農會　社團法人大阪輸出協會　大阪尙志會　大阪府工藝協會　大阪府
議員一同　大阪市參事會員一同　大阪音樂協會　大阪ロータリークラブ　大阪市學務委
員一同　宇治川電氣株式會社々長林安繁　大阪市公設市場聯合會　大日本聯合火災保險
協會大阪地方會　男爵鴻池善右衞門　有恒俱樂部　日本共立火災保險株式會社　帝國水
難救濟會長伯爵松平賴壽　愛國婦人會長本野久子　住友信託株式會社　滿洲輸入組合聯
合會理事長山中繁雄　關西信託株式會社　大阪實業協會役員一同　財團法人大阪實業協
會　東京共立女子專門學校櫻友會京阪神支部　終金會　野村德七　大阪府水產會長杉本
又三郎　大阪市電氣局電燈工事請負組合　大阪市衞生組合聯合會々長中山太一　大正日

月堂　有馬賴吉　財團法人大阪府方面委員後援會　男爵山本達雄　大阪社會事業聯盟、大
阪乳幼兒保護協會　社團法人電氣協會理事幹事一同　如水會　如水會大阪支部　東京商

日新聞社　精版印刷株式會社　西成區公同委員　西成區聯合青年團　西
成區聯合教化委員會　西成區衞生組合聯合會　帝國在鄉軍人會西成區聯
ノ內報知新聞社　東洋鋪裝株式會社　桑名組桑名政一　大日本紡績聯合
式會社　貴族院議員阿部房次郎　日本棉花同業會　輸出綿糸布同業會
棉花株式會社　江商株式會社　東洋棉花株式會社　住吉區公同委員　住
住吉區教育會　住吉區聯合教化委員會　住吉區衞生組合聯合會　帝國在
聯合分會　住吉區各水利組合　日本赤十字社々長公爵德川家達　日本赤
長安井英二　堺市長河盛安之介　はり半本店　大阪市小學校長會　大阪
大阪市役所出入商人一同　弔魂會　合名會社藤田組　男爵藤田平太郎
族院議員佐々木八十八　大阪市醫師會　大阪市立中等學校長一同　財團
事長嘉悅孝　陸軍大臣林銑十郎　第四師團長　臺灣軍司令官陸軍中將伯
事參議官陸軍大將菱刈隆　大阪府方面常務委員　港區公同委員　港區教
軍人會港區聯合分會　大阪市港區聯合青年團　大阪市港區衞生組合聯合
聯合教化委員會　株式會社臺灣銀行副頭取吉田勉　北區公同委員會　北
北區教育會　北區聯合教化委員會　北區衞生組合聯合會　帝國在鄉軍人
北區國防協會　北區區會議員一同　大阪每夕新聞社　社團法人水道協會
法人癌研究會　大阪體育協會　近畿陸上競技協會　大阪信託株式會社

團法人大阪實業組合聯合會　安治川土地株式會社　白川朋吉　阪堺電車株式會社　大阪

團法人大阪實業組合聯合會　安治川土地株式會社　白川朋吉　阪堺電車株式會社　大阪
今日新聞社　大阪市保育會　大阪市學校醫會　大阪市學校齒科醫會　西
帝國在鄉軍人會西區聯合分會　西區聯合青年團　西區聯合教化委員會
合會　西區區會議員商議員一同　西區國防思想宣揚會　西區教育會大阪市吏員敬愛會
東京市長牛塚虎太郎　此花區公同委員會　此花區聯合青年團　此花區教
合教化委員會　此花區衞生組合聯合會　此花區方面委員一同　帝國在鄉軍人會此花區聯
合分會　帝國在鄉軍人會大正區聯合分會　大正區公同委員會　大正區聯合青年團　大正
區教育會　大正區衞生組合聯合會　旭區公同委員一同　旭區聯
合青年團　旭區教育會　旭區聯合教化委員會　旭區衞生組合聯合會　帝國在鄉軍人會旭
區聯合分會　東區公同委員一同　帝國在鄉軍人會東區聯合分會　東區聯
教育會　東區聯合教化委員會　東區衞生組合聯合會　東區方面委員一同　東區國防思想
普及會　東區國防婦人會　東區區會議員一同　大阪市聯合青年團理
事　大青會　大阪市聯合婦人會　大阪市聯合處女會　南區聯合青年團
合會　帝國在鄉軍人會南區聯合分會　南區教育會　貴族院議員渡邊千代三郎　大阪瓦斯
株式會社　片岡直方　財團法人住友私立職工養成所　大阪海陸協會　住友銀行會長八代
則彥　株式會社大阪經濟新聞社　文部參與官山桝儀重　大阪鐵道局長日淺寬　愛知縣總
務部長粟屋仙吉、島根縣總務部長崎山省吾　大阪北港株式會社　東京駿河臺中央大學　三

北區國防婦人會　北區區會議員一同　大阪每夕新聞社　社團法人水道協會關西支部　社團
法人癌研究會　大阪體育協會　近畿陸上競技協會　大阪信託株式會社
大阪朝報社　社

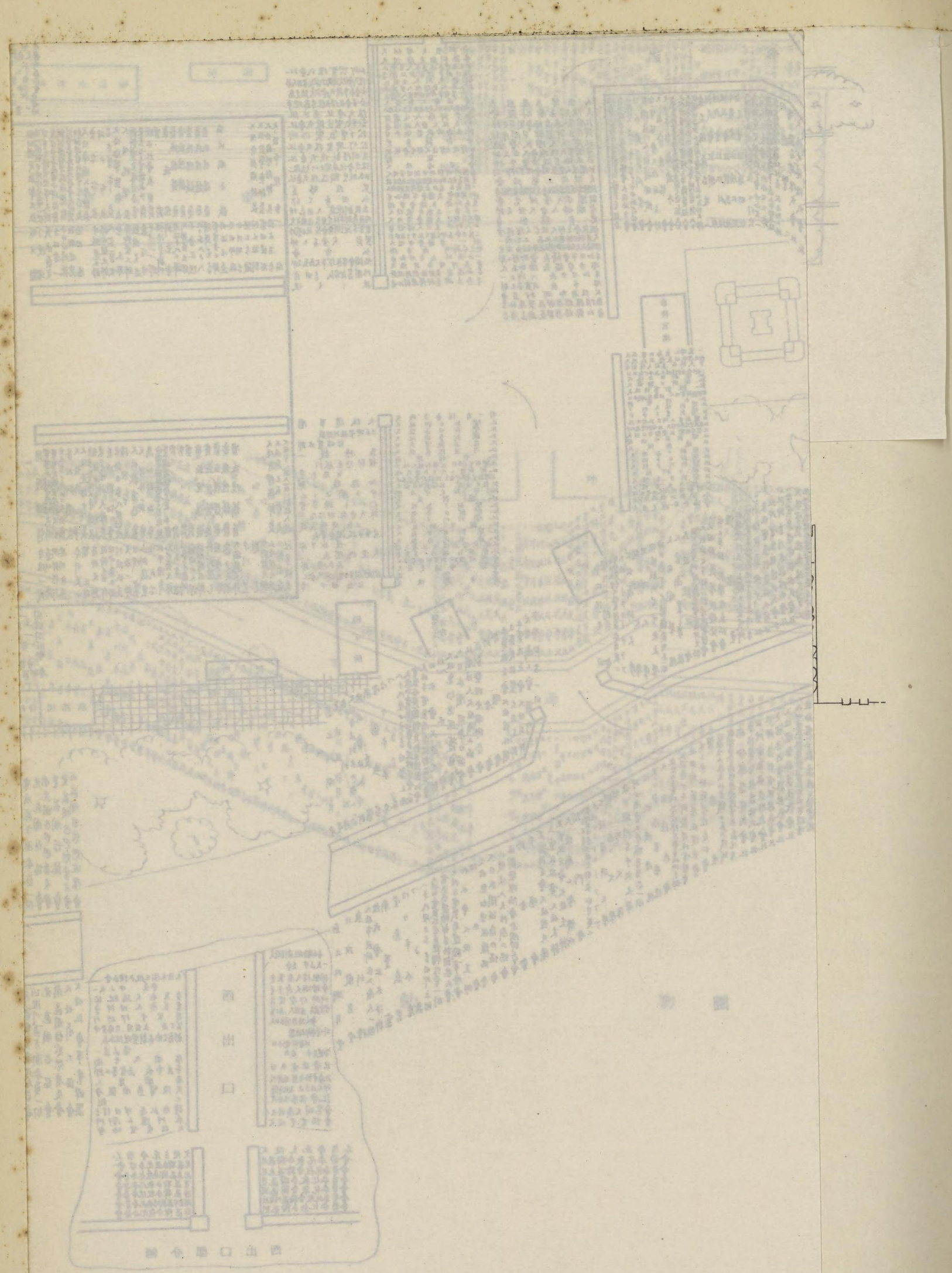
菱鑛業株式會社三谷一二　遞信大臣床次竹二郎　大阪遞信局長關正雄　株式會社大阪堂島米穀取引所　株式會社大阪堂島米穀取引所一般取引員組合　大阪市廳食堂、富士屋食堂、大阪屋食堂、丸藤食堂　日本海員掖濟會本部　日本海員掖濟會大阪支部　朝鮮總督宇垣一成　大阪商船株式會社々長村田省藏　滿洲帝國駐日特命全權公使丁士源　池田榮三郎

大阪市健康保險組合　大阪市電氣局健康保險組合　大阪乘合自動車株式會社　電氣局運輸部自動車課監和會　京阪電氣鐵道株式會社　太田光熙　有田邦敬　大阪市電氣局共濟組合　大阪綿糸商同盟會　大阪綿糸商組合　大阪市課長一同　大阪市理事一同　社團法人大阪俱樂部　株式會社大阪三品取引所　大阪陶業株式會社　大阪市全町內聯合會　東成區公同委員會　東成區聯合青年團　東成區教育會　東成區衞生組合聯合會　東成區方面委員一同　西淀川區公同委員一同　西淀川區教育會　西淀川區教化委員一同　西淀川區衞生組合聯合會　西淀川區帝國在鄉軍人會聯合分會　西淀川區內方面委員一同　大倉商業學校　東淀川區公同委員會　東淀川區聯合青年團　東淀川區教育會　東淀川區衞生組合聯合會　東淀川區教化委員會　帝國在鄉軍人會東淀川區聯合分會　田中喜三治　堺市會議長楠野泰夫　浪速區公同委員會　浪速區聯合教化委員會　浪速區聯合教育會　浪速區衞生組合聯合會　帝國在鄉軍人會浪速區聯合分會　大阪朝日新聞社　大阪朝日新聞社々長上野精一　大阪朝日新聞社取締役會長村山長擧　大阪朝日新聞社副社長下村宏　大阪青果株式會社　大阪魚株式會社　大阪海產物株式會社　野村證券株式會社　立憲政友會大

果株式會社　大阪魚株式會社　大阪海產物株式會社　野村證券株式會社　立憲政友會大阪院外團　橫濱市長大西一郎　岸和田市長川崎正一　岸和田市會議長覺野勝三郎　大阪府市町村長會　大阪市各區役所職員一同　大阪市各廨職員一同　大阪市役所係長一同　大阪市役所職員一同　關門會　社團法人大阪府衞生會、大阪核豫防協會　大阪遠足聯盟　大阪中央放送局長廣江恭造　金森又一郎　大阪電氣軌道株式會社、參宮急行電鐵株式會社　京都市長代理助役村松武美　武藤金太　社團法人國民會館　大阪市電氣局運輸事務會　錢高久吉　大阪中華北幫公所、大阪中華南幫商業工所　中川望　大阪市中央卸賣市場睦會　貴族院研究會　貴族院議員森平兵衞今村幸男　博信社新聞舖平岡茂雄　社團法人大阪經濟會、市政研究會　明治大學　懷德堂株式會社錢高組　村瀨末一　新聞聯合社　立憲政友會大阪支部社長　日本電氣株式會社大阪支店　株式會社松村組　株式會社社間組　東京市會議長子爵森俊成　財團法人田附興風會　昌榮堂印刷所　帝國在鄉軍人會大阪市電氣局聯合分會大阪市特別市制期成同盟會　大阪市各區出張所長一同　立憲民政黨大阪支部　貴族院議員堀啓二郎　黑川福三郎　合同電球電氣株式會社　名古屋市長大岩勇夫　天王寺區公同委員會　天王寺區聯合青年團　天王寺區教育會　天王寺區聯合教化委員會　天王寺區衞生組合聯合會　天王寺區小學校教育後援聯合會　天王寺區元市會議員　天王寺區十人會天王寺區民　大阪特別市制期成同盟會天王寺區部會　天王寺區小學校、幼稚園、補習學校、青

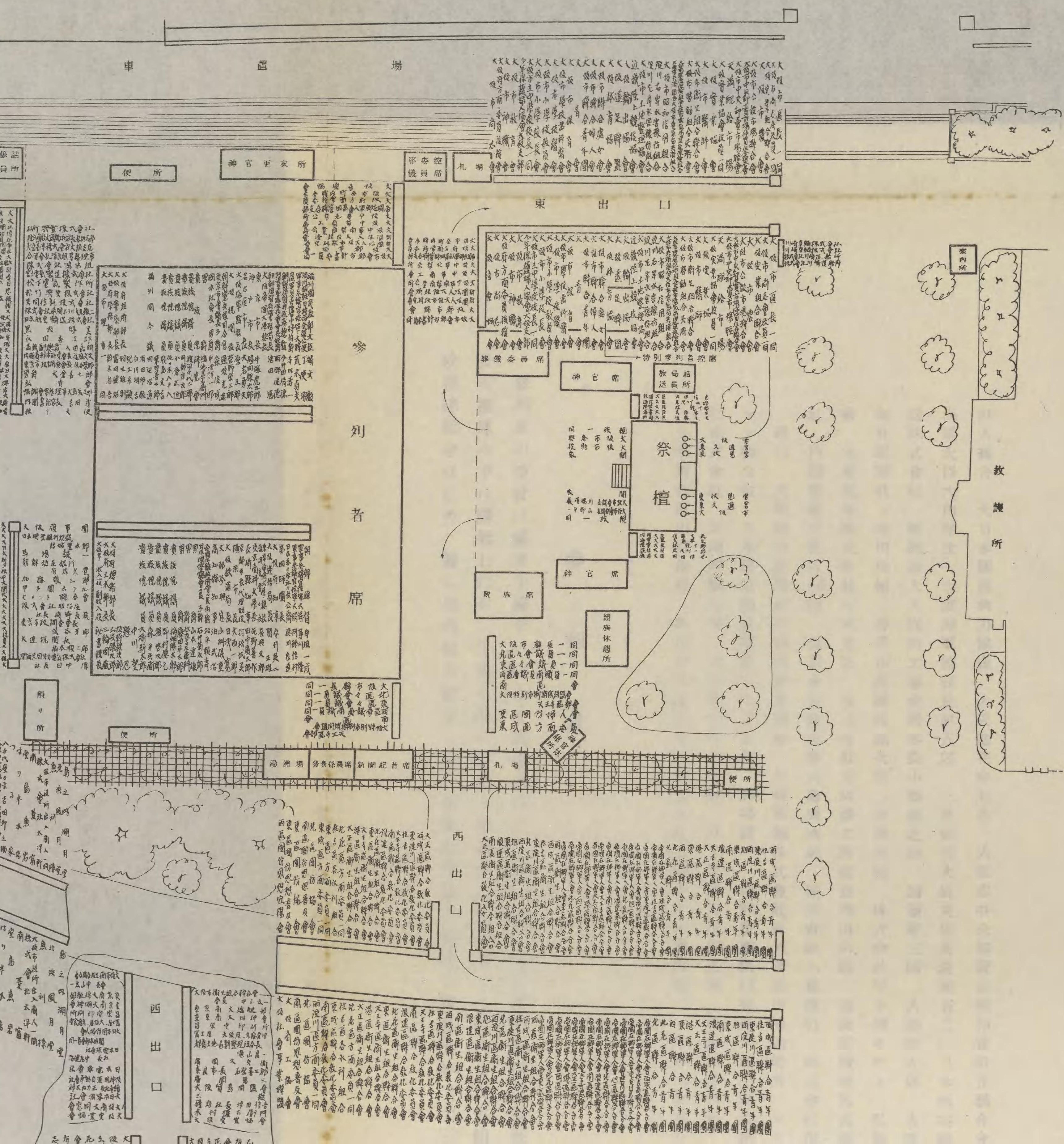
生組合聯合會　帝國在鄉軍人會浪速區聯合分會　大阪朝日新聞社
上野精一　大阪朝日新聞社取締役會長村山長擧　大阪朝日新聞社副社長下村宏　大阪朝日新聞社々長　大阪青

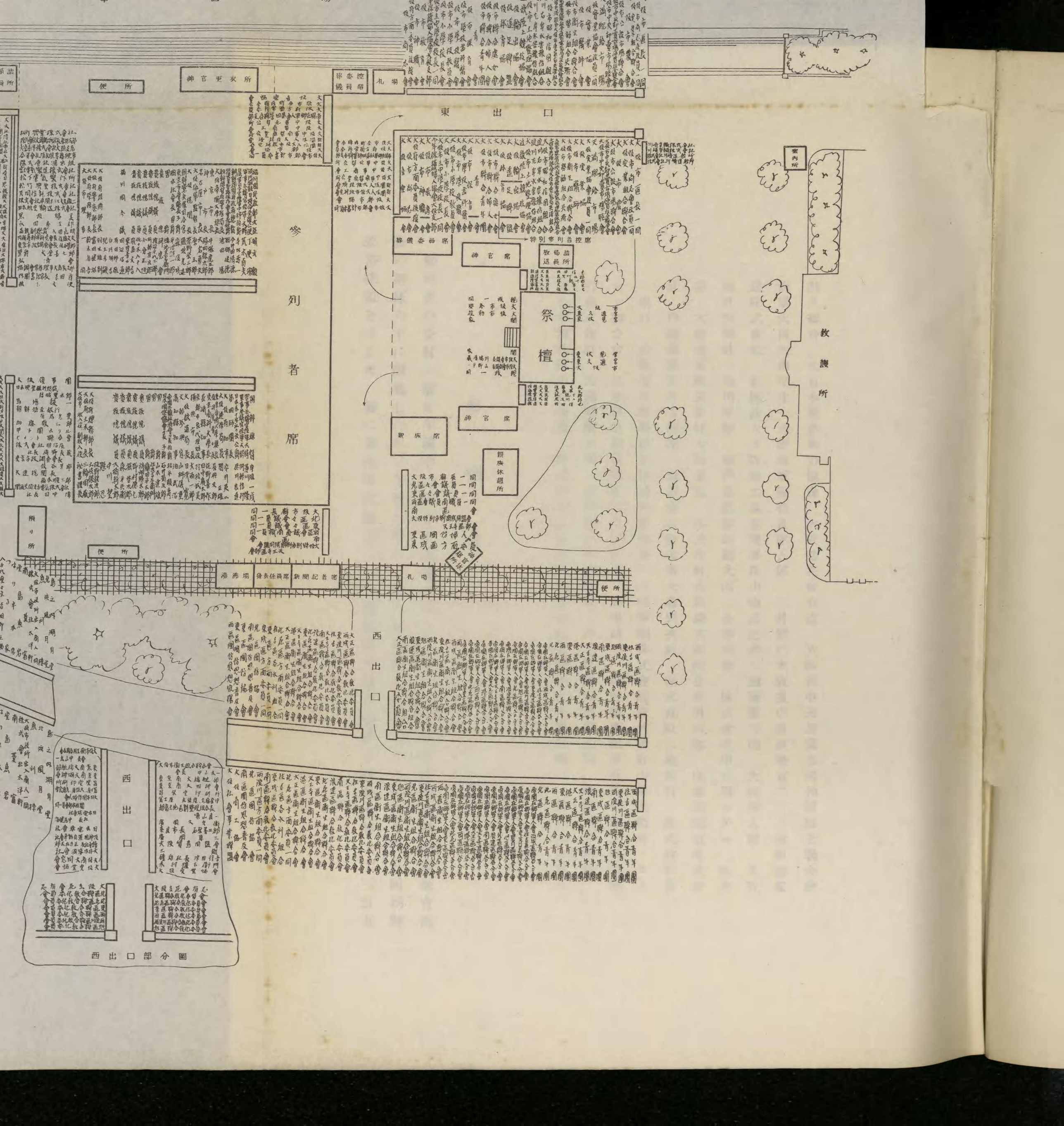
年訓練所職員一同　天王寺師範學校友松會·池田師範學校瓊池會·大阪府女子師範學校常磐會　南條金雄　武村貞一郎　田島繁二　瀨古孝之助　川村貞次郎　三浦新七、田崎愼治
神戸商業大學職員有志一同　藤波收　永松利熊　宮寺敏雄　有村愼之助　大阪市電氣局動力工事請負組合　大日本國防婦人會關西本部會員一同　株式會社三越　大阪市　關家親族一同　高知縣知事泊武治　大阪工研協會　東京市政調査會長男爵阪谷芳郎　帝國軍人後援會大阪支會　海軍協會大阪府支部　豊國セメント株式會社取締役社長村瀨末一　鐘淵紡績株式會社々長津田信吾　社團法人大阪貿易同盟會　黒板勝美　大日本麥酒株式會社　大阪府經濟部長羽生雅則、學務部長鈴木省吾、警察部長富田健治　木村權右衞門　大阪神國道自動車株式會社　長崎縣知事田中廣太郎　內務省都市研究會長　後藤文夫　奈良市長石原善三郎　滿洲國參議田邊治通　讀賣新聞社長正力松太郎　富士電球製造株式會社　松下電器製作所　關西共同火力發電株式會社々長田中博　共同信託株式會社　大阪府知事安井英二　縣忍　軍事參議官陸軍大將阿部信行　軍事參議官陸軍大將荒木貞夫　大連稅關長福本順三郎　日本電球株式會社々長牛尾健治　日本電球株式會社　大阪府總務部長土岐銀次郎·大阪府土木部長三輪周藏　內外綿株式會社　廣岡久右衞門　廣岡惠三　大阪市都島土地區劃整理組合長瀧山良一　日刊工業新聞社　大阪市電氣局運輸部監友會　大阪市電氣局電車課轉信一同　社團法人清交社　獨逸大使　大阪領事團（Osaka Consular Corps）　株式會社明治屋社長磯野長藏　東京永田秀次郎　合資會社清水組　大阪鮮魚買



附圖

大阪市電氣局電車課轉信一同　社團法人清交社　獨逸大使　大阪領事團（Osaka Consular Corps）　株式會社明治屋社長磯野長藏　東京永田秀次郎　合資會社清水組　大阪鮮魚買


車置場
便所
神官更衣所
控席
委員
札場
東出口
特別參列者控席
葬儀委員席
神官席
放送局詰員所
祭壇
參列者席
神官席
親族席
親族休憩所
案內所
救護所
便所
湯沸場
發表係員席
新聞記者席
札場
便所
西出口
西出口


東出口
參列者席
祭檀
席官神
席官神
席族親
親族休憩所
席員委儀葬
席控首列參別特
席員委儀葬
席官神
詰所局員放送
案內所
救護所
所便
所衣更官神
控席委員葬儀
場札
所便
所便
所便
場沸湯
席員係表發
席者記聞新
場札
西出口
西出口
西出口部分圖

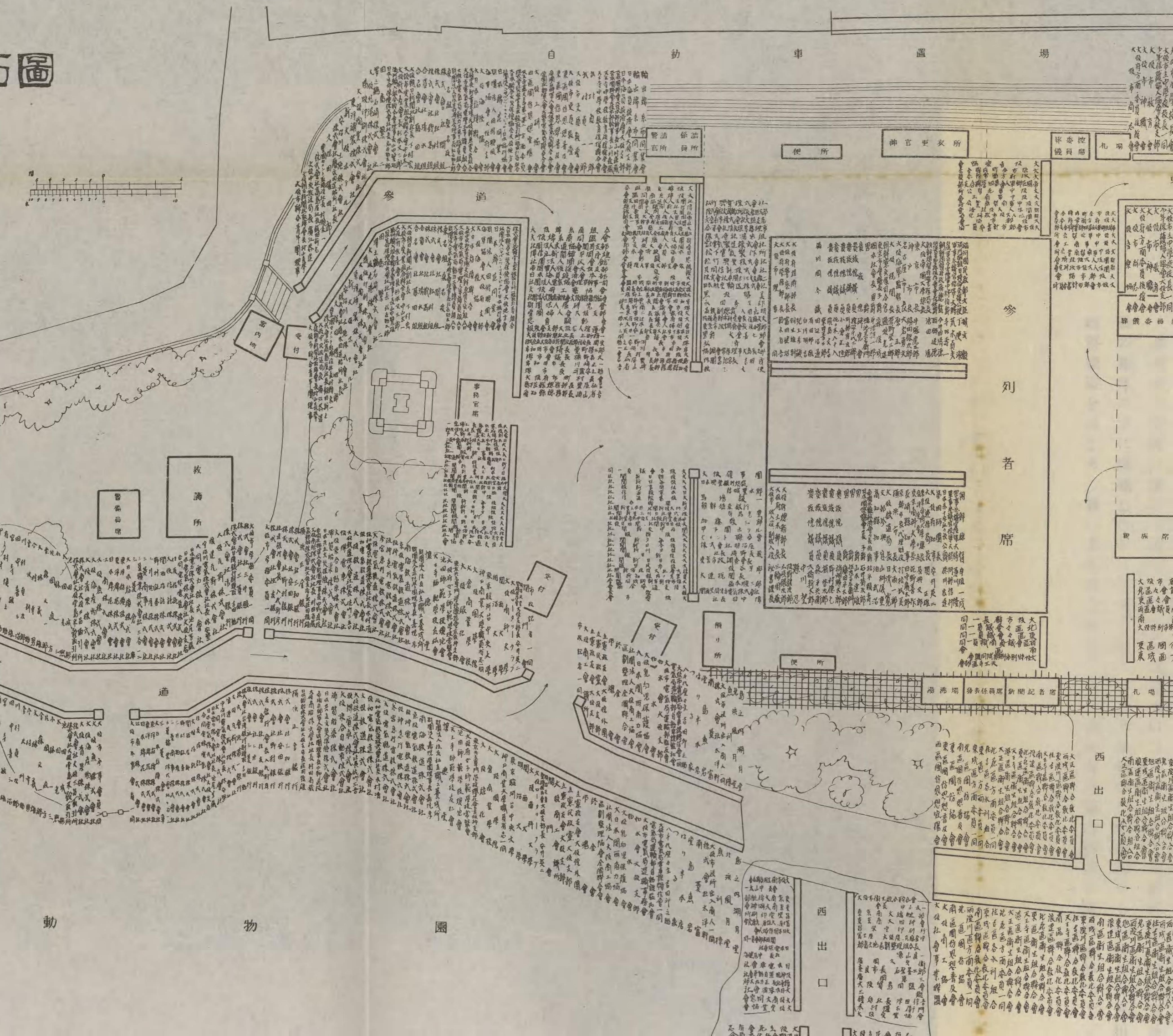
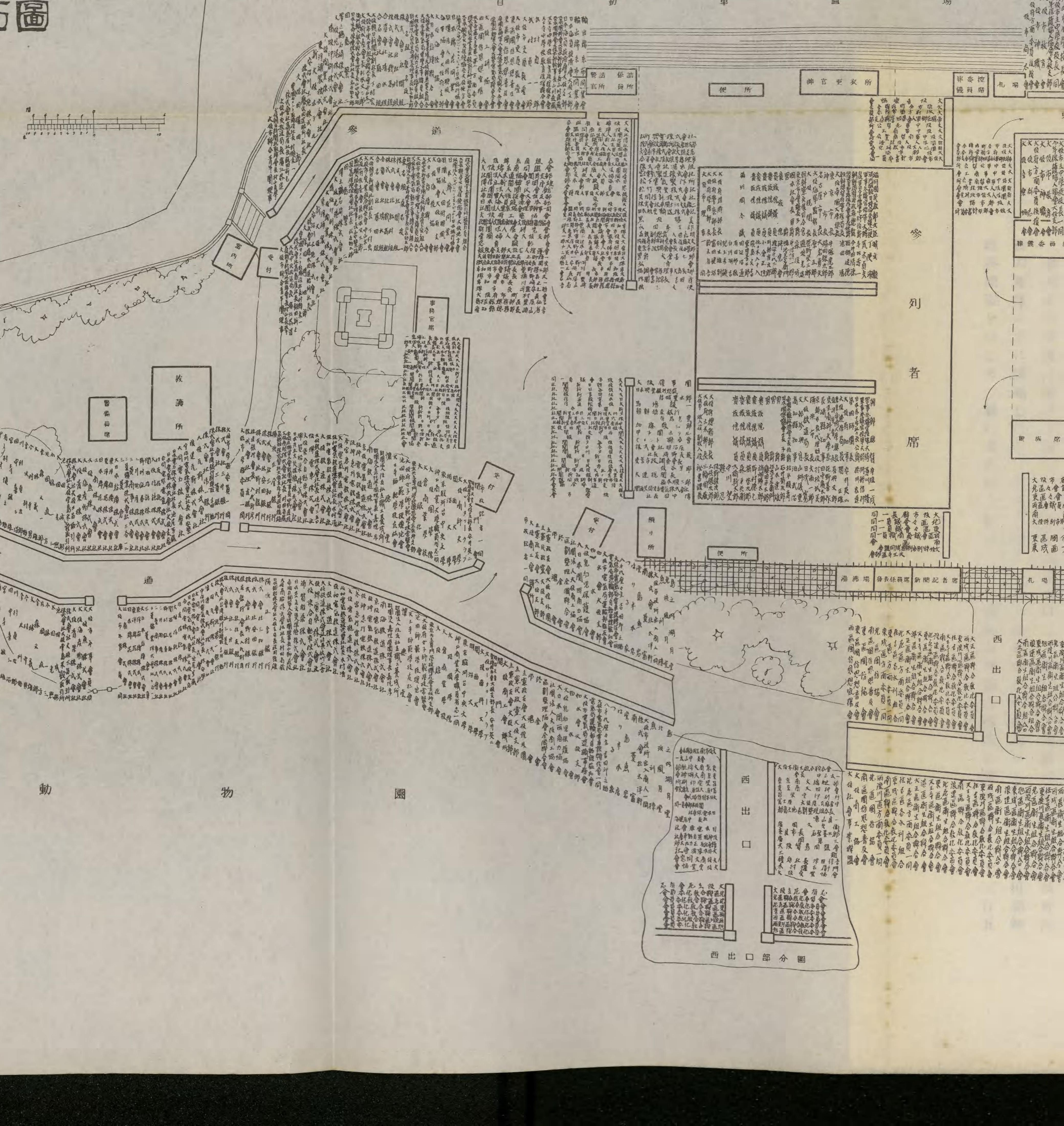


圖
自動車置場
道參
參列者席
道
動物園
西出口
西出口
受付
受付
受付
事務官席
警備員席
救護所
案内所

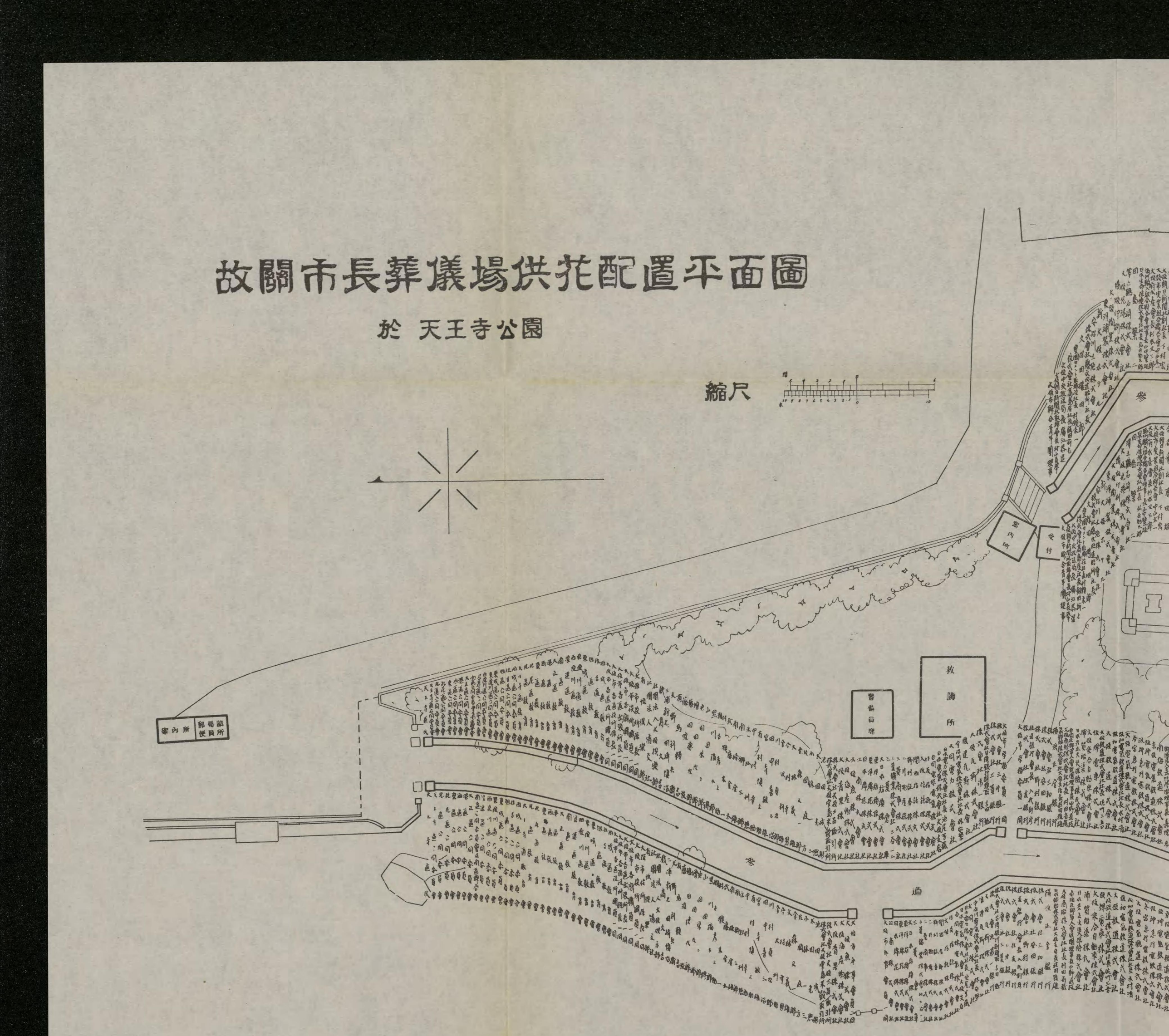


道參
參列者席
道
動物園
西出口
西出口部分圖

故關市長葬儀場供花配置平面圖

於 天王寺公園

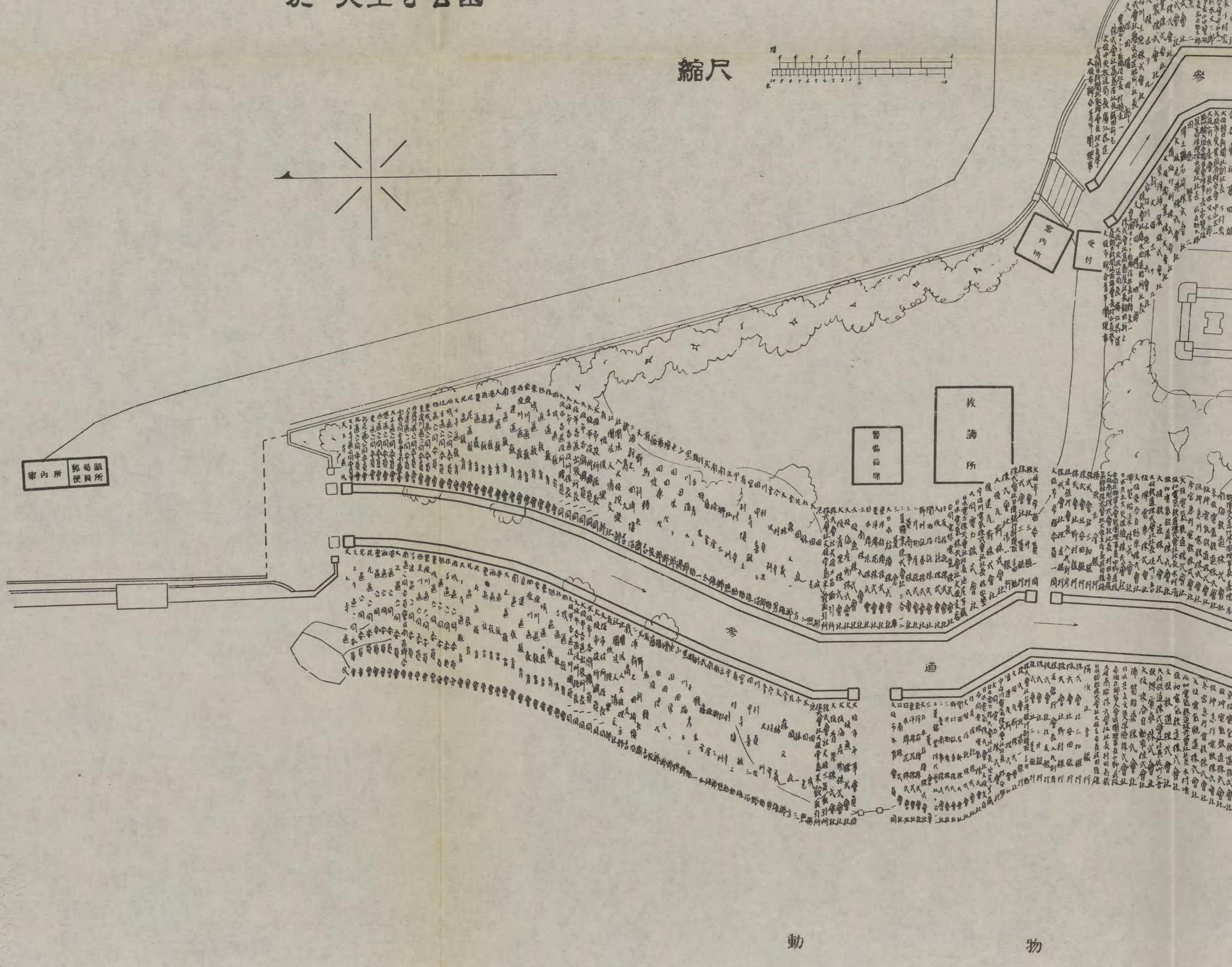
縮尺



故關市長葬儀場供花配置平面圖

於 天王寺公園

縮尺

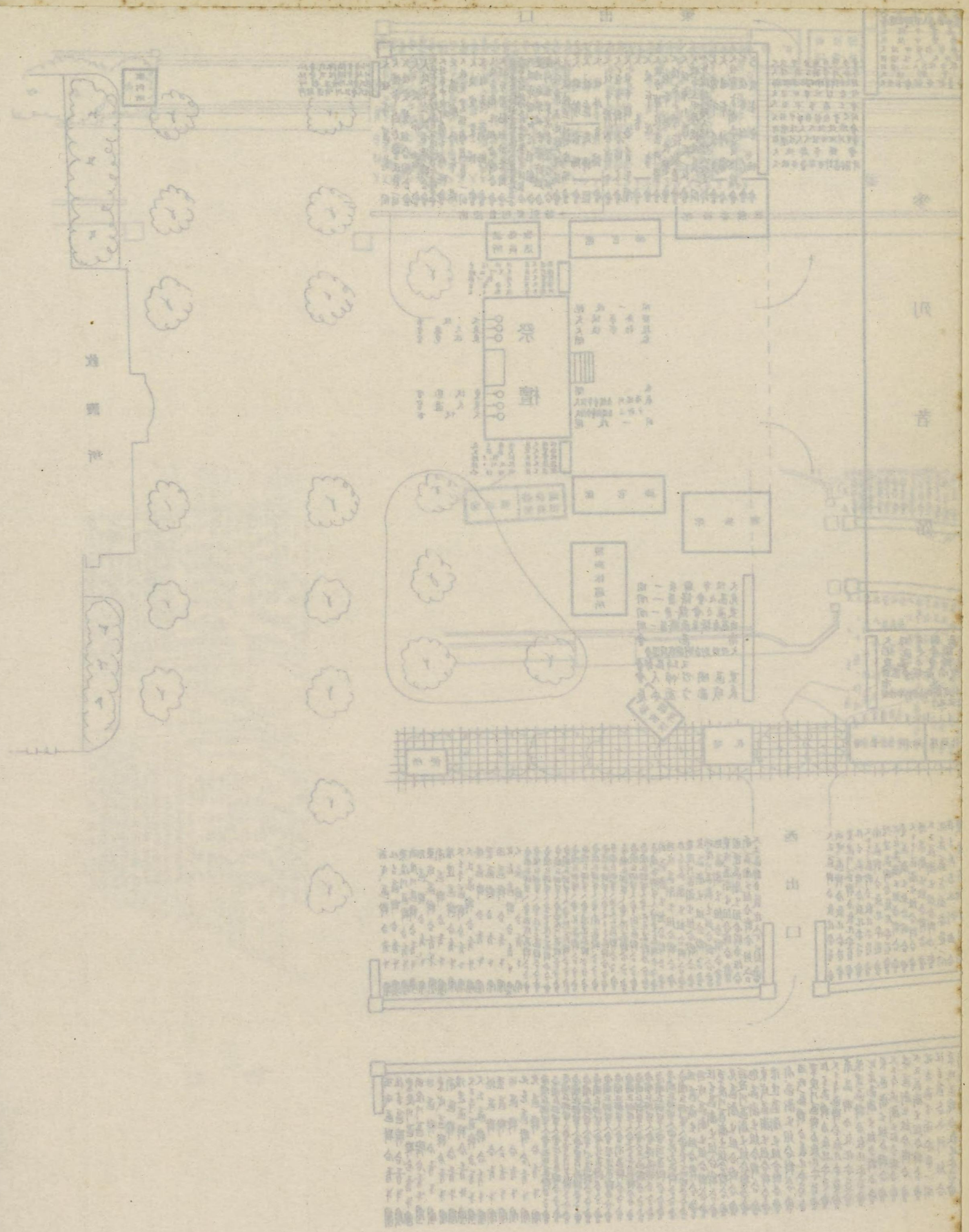


出入組合

大日本關西角力協會

大阪造花會有志

大阪市中央卸賣市場仲買組合聯合會



出人組合　大日本關西角力協會　大阪造花會有志　大阪市中央卸賣市場仲買組合聯合會
海軍大臣大角岑生　大阪海軍監督長原五郎　三井銀行大阪支店長渡邊省二　日本航空輸
送株式會社　社團法人大阪商工協會理事長小畑源之助　加藤敬三郎　大橋新太郎　大阪
毎日新聞社　池田成彬　神戸市長勝田銀次郎　金澤利助　株式會社甲子園ホテル　弘濟
會　大倉商事株式會社大阪支店　株式會社大阪鐵工所社長原田六郎　南滿洲鐵道株式會
社　內閣書記官長吉田茂　協調會常務理事大島辰次郎　株式會社三菱銀行　株式會社第
一銀行　大阪毎日新聞社取締役會長岡實　川崎車輛株式會社、株式會社川崎造船所　セメ
ント聯合會　日本興業銀行總裁結城豐太郎　馬場鍈一　朝鮮殖產銀行有馬光豐　松竹興
行株式會社　天滿配給市場　浦賀船渠株式會社　八千代座吉田卯之助　横濱正金銀行
大日本國粹黨山村森藏　株式會社鴻池組　株式會社帝國ホテル犬丸徹二　男爵大倉喜七
郎

參列者

參列者の受付は當日午前十一時より式場入口三ヶ所に於て總務部受付係長岡教育部長の指揮の下に開始したが、午後一時には遙々參列のため來阪せられたる今井田朝鮮政務總監をはじめ　曩に案內狀を發送したる葬儀參列案內範圍の諸名士等二千三百五

十二名の受付を終つた。午後二時四十五分（豫定より十五分遲る）からは一般參拜者の受附を開始し、同五時三十分受附を終了したがその數八萬有餘名に上つた。主なる參列者を擧ぐれば左記の如くである。

尙ほこの日東久邇宮殿下御名代として池田事務官の御參列の光榮を忝うした。

大阪府知事安井英二　大阪商工會議所會頭森平兵衞　大阪府會議長辻阪信次郎　大阪控訴院長田中右橘　大阪控訴院檢事吉益俊次　大阪稅關長菅野榮三郎　大阪帝國大學總長楠本長三郎　大藏大臣代理大阪造幣局長泉至剛　鐵道大臣代理大阪鐵道局長日淺寬　大阪遞信局長關正雄　地方專賣局長有田靖　內務省大阪土木出張所長高西敬義　陸軍造兵廠大阪工廠永持源次　第四師團司令部附平松英雄　海軍監督官原五郎　英國總領事オスワルド・ホワイト　大阪朝日新聞社上野精一　大阪每日新聞社岡實　伯爵柳澤保惠　東京市長牛塚虎太郎　貴族院議員野村德七　貴族院議員稻畑勝太郎　貴族院議員小倉正恒　知恩院管長代理　西方寺住職　市政記者代表　岐銀次郎　大阪府土木部長三輪周藏　大阪府學務部長鈴木省吾　大阪府總務部長土則　貴族院議員佐々木八十八　大阪稅務監督局長窪寺勳　泉仁三郎　吉　永田秀次郎　其他（以上順序不同）

接待及禮場の模樣

接待及禮場の模様

參列者の接待及禮場は別項所載の如く儀式及設營部接待禮場係に於て、當日吏員側係員は午前十時に、舊名譽職側係員は午前十一時五十分に、西入口附近に集合、同所に於て徽章及分擔事務書を交附して事務實施の打合をした。當日實施したる事項を大別すれば、(一)東久邇宮家に關する事項、(二)會葬者案內に關する事項、(三)會葬者接待に關する事項、(四)團體會葬者に關する事項、(五)禮場に關する事項であつて、その實施概況を略述すれば次の如くである。

一、東久邇宮家に關する事項

御休憩所の設備、宮家御出發御着の時刻、御道筋等に就いては儀式及設備係と充分打合を了し萬遺漏なきを期した。而して當日は正午前に念の爲宮家と電話に依り御出發御着の時刻を打合せたが午後一時宮家より電話により「御名代として池田府事務官只今出發」との御通知ありたれば、池川副委員長外當該係長に其旨を通知して御出迎への手配を了した。西入口より行啓記念碑前の御休憩所までの兩側に川畑委員長、池川副委員長をはじめ係員其他の參列者一同堵列して御奉迎し御名代は御召自動車にて午後一時二十分御休憩所前に御着、直ちに御休憩所に入

らせられ川畑委員長の御挨拶、池川副委員長、木津谷係員の御接待を受けさせられて御少憩の後、午後一時四十分木津谷係員の合圖に依り池川副委員長は御名代を祭壇に御案内申上げた。御名代は故關市長の靈前に玉串を奉奠せられ、御休憩所前より御召自動車に乘車御歸還、川畑委員長以下奉送申上げた。

二、會葬者案内に關する事項

東西兩受付より會葬者を其の參列席へ案内するには全部吏員側係員之に當り、各係員の部署を定め混雜を防ぐべく事前に打合を爲したが、會葬者は大體特別參列者の三種に區別し、一般參列者以外のものは各其席へ吏員附添ひ案内したが、距離の遠きと特別參列者の人數の多きため甚しき困難を來たし、舊名譽職及現市會議員より特に援助を受け支障なく之れを了した。

三、會葬者接待に關する事項

會葬者の接待は、(一)東西各受付より參列者席入口に至る間の堵列接待、(二)祭典開始後に於て參列者席に於ける接待の二種に分ち、東西各受付より東西參列者席入口に至る間には兩側に係員堵列して會葬者に挨拶をなし、一般會葬者に參列席の方向を指示すのであつたが、前記の如く特別參列者の案内に手不足を生じたれば吏員側係員は殆ど全員を案内に廻し、此の堵列接待を舊名譽職及現市會議員に依

頼した。一般參列者席には別段接待の必要なきが如く思考したが、祭典擧行中席

方向を指示すのであつたが、前記の如く特別參列者の案内に手不足を生じたれば吏員側係員は殆ど全員を案内に廻し、此の堵列接待を舊名譽職及現市會議員に依賴した。一般參列者席には別段接待の必要なきが如く思考したが、祭典擧行中席内の兩側空地に特に吏員側係員を配置した。而して祭典擧行中に於ては參列者席を擔當せざる他の吏員側係員は受付より參列者席入口に至る兩側に堵列して接待に當り、舊名譽職及現市會議員と交代した。

四、團體會葬者に關する事項

團體會葬者に對しては初め受付より祭壇廣場前までの間に吏員側係員を配置したが會葬者の狀況を見れば其の必要なきものと認められたれば、之れを全部禮場に廻した。

五、禮場に關する事項

禮場に關しては吏員側係員は午後二時より各其の部署に就き二時より三時まで、東西各禮場に於ては三時より四時まで及四時以後の三班に分ち、各受持時間其の持場に立ち、受持時間以外は隨時適宜に他の受持擔當者を補助し、市葬終了まで全員退出せず熱心に勤めた。而して舊名譽職及現市會議員側係員も隨時兩禮場に出場されて吏員側係員を補佐された。

警備及救護狀況

警備　當日係員は所定の警備要項に依り午前十一時夫々部署に就き、正午靈柩車の奉迎を以て參列者の整理、一般參拜者の整頓に當りたる結果、幸に何等の事故もなく態度を以て分擔事務遂行の始めとなし、午後六時三十分まで全員終始眞摯懇切なる無事その職責を果した。

救護　午前十一時係員全部々署に就いた。午後一時祭典開始に先ち、式場內の西北隅と東南隅の各一ケ所に特に醫員一名、看護婦二名を配し救護の敏活を期したるも參列者中には救護を要する者はなかつたが、告別式に入つてから一般參拜者中に輕症なる風邪二名、心臟病患者一名があり、夫々手當を加へて歸宅せしめた。その他係員にして手當を加へたる者二、三名ありしのみであつた。尙ほ式場內に於て適時左の趣旨を放送して一層救護の完璧を期した。

皆樣救護所は南の音樂堂と北の兒童遊戲場の二ケ所に御座います。若し御氣分の惡い御方は御申出を願ひます。

乘物の整理狀況

市葬當日式場に來往せる自動車は參列者の乘用車をはじめ、役所關係、新聞社其他

市葬當日式場に來往せる自動車は參列者の乘用車をはじめ、役所關係、新聞社其他を合して九百有餘臺の多きに上つたが、警衞部乘物係に於ては終始機敏なる處置を採り、極めて順調に事務遂行を終つた。その概況次の如くである。

一、部署配置　岸本係長總指揮の下に早朝より各員部署に就いた。

二、葬列の誘導　草刈係員先驅車に同乘關邸より式場に葬列を誘導するや、途中電車交叉點より臨時電話を以て式場に詳細通報され更に之を場内に放送した。

三、宮家御名代御來場　宮家御名代御到着遊ばさるゝや乘物係員之を式場に誘導し御警備申上げた。

四、齋場入口の整理　入口の混雜を防止する爲め所轄署と協議の上午後一時より二時迄自轉車の通行を停止したが、午後二時頃より一般參拜者殺到の爲、遂に惠美須町天王寺西門間は電車バス以外の諸車の通行を禁止し、專ら參拜者の混雜整理に當つた。

五、自動車置場の整理　各自動車置場並受附に責任者を配置し、入場に際し參拜者並に運轉手に豫め合符を渡し退場に際し其の合符により各自の自動車置場に案内せり、其の結果些の粗漏混雜もなく終始順調に整理を完了した。

因に當日式場に來往せる乘物の臺數及び種別は左の如くである。

一、葬列自動車　三五臺
一、第一回の式　圓　タ　ク　四五一臺
サイドカー　四臺
人　力　車　一臺
自家用自動車　三五九臺
計　八五〇臺
（内駐車數三二九臺　駐車數ノ内市役所關係三一臺）
一、第二回の式　圓　タ　ク　五二臺
自家用自動車　二四臺
計　七六臺
總　計　九二六臺

市葬當日乘物調（天王寺公園降車口）

市葬盛儀の報道

市葬盛儀の模様を逐一迅速に市民に傳へるべく、總務部發表係は當日早くより全員出動して各機能を遺憾なく活躍せしめ、刻々の情況を發表した。その發表事項は葬列通過沿道の情況、沿道參列の各種團體並に小學兒童等の葬送情況、葬儀次第、參列名

市葬盛儀の模様を逐一迅速に市民に傳へるべく、總務部發表係は當日早くより全員出動して各機能を遺憾なく活躍せしめ、刻々の情況を發表した。その發表事項は葬列通過沿道の情況、沿道參列の各種團體並に小學兒童等の葬送情況、葬儀次第、參列名士の來往、弔電弔詞、其他であつたが、弔詞のみは式後直に全文を謄寫に附して各新聞通信社に配付した。

ラヂオ放送　一方式場にマイクロフオンを据へてBK第二放送に依つて盛儀實況の中繼放送を爲さしめた。放送概要は次の如くである。

人生を流れゆく水に浮ぶ『うたかた』に比した文豪の言葉も、そこはかとなく立つては消える『かげろふ』と歎いた詩人の言葉も、凡そ人の世に『死』といふ嚴肅な事實があればこそ私達の胸に、かくもひそかに迫り、强く響くのでございませう『死』こそ人生最大の悲しみであります。

昭和十年一月二十六日、凍りつく樣な寒い夜更けに、サッと吹きすぎた一陣の木枯と共に、大阪市長關一氏は六十三年の生涯に別れて、永い眠りにつかれました。二百七十萬市民が父と敬ひ師と仰いだ我等の市長關さんは、今や接する由もなき、遠いあの世へ逝かれたのであります。大正三年、まねかれて大阪市呼べど答へぬ、逝政にたづさわられて以來、三度選ばれて市長の要職に就き、前後二十有一年、その生活言葉通り忠實なる公僕として終始されました。今や日本の心臟として、東洋の經濟都市として、世界の貿易港としてその偉容を誇り、その實力を誇る大大阪市の

今日はまことに氏の都市行政に對する造詣のたまものでございませう。學者であり人格者であり、人も知る精勵恪勤の人、しかも情の人關一氏、市域の擴張、學制の統一、港の修築、社會事業の振興、氏生前の功績は數へあげれば、寔に枚擧にいとまござゐません。しかしそれも之れも今は歸らぬ思出となりました。關市長は今神殿造り約三十坪、北に面して建てられた祭壇の上、東伏見宮、東久邇宮家から賜り ました榊に守られ、生前の功を物語る數々の勳章を前に、白布に包まれた木箱の中に變つた姿になられました。

今朝十一時半上本町の關氏邸を出發せられ、途中沿道の市民、小學生、各種團體員等の涙の見送りの中を靜に進んで、正午この市葬祭場に到着致しました。

市音樂隊の奏する哀しみの曲は、憂ひに沈む天王寺公園の木々の梢にこだまして祭場は悲しみの色にとざされて居ります。所狹きまでに埋められた各方面からの榊生花、花環などのむせぶ様な香りにも、故市長の人德今更愛慕せられて涙新たなるものがございます。祭壇の下に後藤内相、陸海兩相、床次遞相、内田鐵相等閣僚からおくられた眞榊が並んでをります。靈柩車と共に祭場につかれた喪主秀雄氏外遺族の方々、中に可愛いお孫さんが交つて既に親族席に着席してをられます。特別會葬者約二千名、祭場をとりまく無數の市民、悲しみの中に最後のお別れをする日、はからずも今日を悲しんでかの様に大阪の誇り梨園の名花、歌舞伎界の大御所大成駒屋の訃を聞きまして、全市悲歎にくれてゐる時、愈〻關さんと最後のお別れをする

はからずも今日を悲しんでかの様に大阪の誇り梨園の名花、歌舞伎界の大御所大成駒屋の訃を聞きまして、全市悲歎にくれてゐる時、愈〻關さんと最後のお別れをする時が參りました。

足取りも悲しく祭壇に進む人、きざはしを下りる人、冬の淡い日が地上にうつす影さへも悲しみに滿ちて力弱く一入涙をそゝります。

先きに關市長卒去の事天聽に達しまするや、かしこくも宮中におかせられまして は、有難き思し召しを以て從四位勳三等に陞叙旭日中綬章を授けられ、祭資を下賜あらせられました。遺族の方々と共に我等大阪市民等しく聖恩の厚きに感泣致します次第でございます。

昨年市長としての功績により貴族院議員に勅選せられ、やがて中央に雄飛せんとする故市長に、全日本が期する所更に大なるものがある時、神いたづらに無情、突如として天國に召されました事は、返す〳〵も痛恨に堪へないのでございます。昨年の大風水害の時も連日寢食を忘れて善後策に渾身の努力を捧げられました、氏のこの努力に依つて漸く復興の第一歩を踏み出さうとする時遂に病に斃れました事は氏自身にとりましても、さぞかし心殘りの事でございませう。この災害復興に最善をいたしたあの時の活躍が、今日の悲しみの一つの原因であるとも聞いてをります。

族の方々、中に可愛いお孫さんが交つて既に親族席に着席してをられます。特別會葬者約二千名、祭場をとりまく無數の市民、悲しみの中に最後のお別れをする日、

輝ける復興大大阪市を建設する事こそ、我々市民が故市長の冥福を祈る唯一の道でございませう。

氏生前の功を稱へ、そして冥福を祈る弔辭が靜まり返つた場内の空氣をふるはせてゐます、いつまでもつきぬ悲しみの中に故關市長市葬祭場からの中繼放送を終る事と致します。

尚ほ當日午後七時のニュース時間に於てもBKより大要左記の如き一般市民の參拜狀況を放送せしめた。

故關市長市葬の儀は午後二時二十分終了、同三十分から一般市民の參拜此の日朝來式場附近に詰めかけていた市民群は大濤の如く、而も敬虔の裡に續々入場し、祭壇に向つて懇に默禱を捧げました。羽織袴姿の御老人や工場から驅付けたばかりのやうな御職人衆等が涙乍らに冥福を祈つている姿も見え、故市長の德を今更乍らにしのばせるものがありました。

やがて閉場の時間の五時も近付き、夕陽は赫々と祭殿に照り榮えますが、後から後からと續く參拜者の群は何時果つべしとも思はれませんでした。此の日參拜の市民は其筋の推算によりますと約八萬と言はれております。なほ明日も祭場は午前九時から午後四時まで一般市民のため入場が許されることとなりました。

市民は其筋の推算によりますと約八萬と言はれております。なほ明日も祭場は午前九時から午後四時まで一般市民のため入場が許されることとなりました。

市民の哀悼

葬場の儀に次ぐ一般告別式には前述の如くすでに八萬に上る市民大衆の參拜ありて全市民深き哀悼に鎖されたが、この日市内各小學校に於ては午後一時兒童に對し故市長に關する一場の訓話を爲し、同一時二十分を期し一齊に天王寺公園葬祭場に向つて遙拜した。又市廳舍を始め、電氣局、港灣部、各區役所其他市關係各公署に於てはいづれも門頭に弔幕を施し、市電及市バスは弔旗を掲揚して市街を走り、其他市内のビルデイング、民家にも弔旗を掲げるを見受け、或は百貨店其他大店中にて飾窓に故市長の像を掲げるもありて、全市を喪裝に包み全く市葬に相應しく限りなき哀しみを表した。

市内各新聞紙は一齊に社説を掲げて故關市長の逝去を悼んだが、その主なるものを左に轉載する。

大阪朝日新聞「關市長を悼む」

病める大阪市長關一氏の容態は市民のひとしく憂慮するところであり、回復の一日も早からんことを祈つたのであるがはからずも二十六日夜遂に長逝した。まことに悼ましい極みである。市會が氏の靈を送るに市葬の禮をもつてするに決したことは、全市民の深き哀悼の總意を表明する手段として、最も當

を得たものといふべきである。世界的大都市の市長といふ難職を三選十一年餘もつとめ、しかもその間立派なる成績を擧げるといふことは、普通人には出來ない仕事である。關氏の如き温良なる性質と學者的清廉と、しかして强健なる體質とによらなければならない。大阪市政二十一年間の生活は、忠實なる公僕として終始一貫し、その功績は遂に認められて、先に勅選議員の榮譽を擔ふにいたつた。わが大阪が教育において、常に全國都市の模範たるべき地位に立つは、氏の都市行政に對する造詣のたまものと見るべきである。氏が昨年の大風水害に際して、その善後策に渾身の努力を捧げたことも、最近健康を害した一因であらう。今や復興計畫の完成を見ずして逝くは氏自身もさぞかし殘念であらうが、市民にとつて最大の遺憾事であり、いよいよ追慕の念を深ふする次第である。（十年一月廿八日社說）

大阪毎日新聞「關一氏を悼む」大阪市長關一氏の逝去はまことに惜しむべき限りである。氏が東京高商教授を辭して大阪市に赴任したのは大正三年で、自來助役として九年、市長として三選十二ヶ年に及び、大きな功績を擧げた。市域の擴張、學制統一と商大昇格、大阪電燈の買收、大阪港修築、都市計畫事業、中央市場の完成、社會事業の振興等はその主なるもので、大大阪今日の發展は氏に負ふところが多い。氏は學者にして人格者、その精勵恪勤は人の知るところで、加ふるに政黨色なく、世間に數

多い自治體の紛議をよそにわが國商工業の中心たる大大阪の市政をまことに平和圓滑

業の振興等はその主なるもので、大大阪今日の發展は氏に負ふところが多い。氏は學者にして人格者、その精勵恪勤は人の知るところで、加ふるに政黨色なく、世間に數多い自治體の紛議をよそにわが國商工業の中心たる大大阪の市政をまことに平和圓滑に運んだのである。たゞに大阪市政に功績を擧げたばかりでなく、わが國自治制の功勞者であつた。昨年七月市長としての功績によつて勅選せられたのは、わが國では初めてのことで、その功を語つて餘りある。今わが國運の伸長に大關係ある大大阪の復興事業を前に控へて、この市政の功勞者を失つたことはまことに哀惜にたへない。大阪市民がこの功勞者を弔するにあたつて市葬の禮をもつてし、大阪市として最大の敬意を拂ふことに決したのは當然である。（十年一月廿七日社說）

大阪時事新報　一代の名市長關博士不歸の旅にのぼる、悼む心が深い。あらゆる點において近代都市の典型とせらるゝ「大大阪」今日の姿を思ふとき、其處に繰りひろげられた三選十二箇年の關市長の學識と人格、謹嚴正義、政治ないし財政的手腕の曼陀羅に頭が下がる。政治の中心地以外に發達した大都市として最初の大大阪は、昔から町人氣質で押切つて來た生産都市、獨立的存在の根深く植えつけられてゐる。たとへば江戸で金一圓で米何升といふのと反對に、米一升に銀何枚といふ生産本位にもその面目を躍如たらしめてゐたが、その形式、精神ともに、現今においても毫も變るところなく、關市長がその特色ある土地に近代自治體鋪裝建設することの有意義さと魅力に感じ始めた時、東京商大の學長を棒に振つたくらゐのことは何んでもなかつたら

しい。都市計畫の完成はもとより大大阪港灣の實現には特にその力を注ぐところであつて、一衣帶水の世界隣接港の觀念は片時もその腦裡から離れなかつた。それにともすれば政治惡の巢窟となり易い市政界に醜聞を立てることなく之を引まはした人格的手腕に至つては、近來稀に見るところ、何人も敬仰せざるを得まい。聞くところによれば死の直前すでに家人の顏が判明せぬのに、市役所役人の顏はこれをよく識別して「加々美を呼べ」「秘書課長、別室へ行く」などの悲壯な腦症を示し、さらに「もう五十萬圓云々」と內務省補助を要求する議會の言葉となつた。臨終に莊嚴淨土や、天國を夢見る人はよくあるが、關市長の淨土は理想都市實現以外にはなかつたのであらう。勅選議員として、身既に日比谷にあり、大阪市のため今年こそ大いにシャベるべかりし處女演說が斷片的に迸出したのだ。小坂から大坂となり、大阪と改め大大阪となつた都市發達、ナニハ吉土の古へより、蓮如、豐公の扶植、そして名市長關博士。それら輝く遺業を一層光りあらしむる以外に市民の敬弔はない。願はくば「大大阪」をして大阪の戒名たらしめざることを。（十年一月廿七日「一日一言欄」）

市葬後記

市葬翌日の葬場

故關市長の市葬儀は二月一日空前の盛儀裡に終りを告げたが、天王寺公園の葬場は一般市民の爲、翌二日まで一般の參拜を許した。參拜者は同日朝より踵接し、昨日同樣凡ゆる階級の人々が敬虔なる態度で祭壇に向ひ深き默禱を捧げて順次退場して行つたが、閉場時に至るも參列者は陸續と押掛けて、その數實に一萬五千餘人と云はれる。BKは當日も葬場より中繼して此の日の實況を一般に放送した。斯くて閉場後直に儀式及設備係の手に依つて祭壇をはじめ諸般設備の撤去を開始され、同四日に至り設備一切の取拂終了、跡片付共完了した。

尙ほ此の日、警備及救護係では一般參拜者の爲、特に救護班一班と警備掛員三十名を葬場に派遣して救護及び警備に當らしめたが、當日の救護班は醫員一名、事務員一名、看護婦二名其他自動車運轉手一名、雜役二名計七名を以て組織し、天王寺公園音樂堂救護所に午前九時より午後四時迄詰切つたが、救護を要する者一名も出でず、極めて平穩裡に勤務を了へた。一方三十名の警備掛員も之亦午前九時より一齊に夫々警

備位置に就き、午後五時迄熱心に警備、監視に努めたる爲、甚しき違反者もなく、無事その職務の遂行を終つた。

會葬禮狀及廣告

禮狀の發送　二月二日午前九時より市葬總務部受付係に於て各區役所より吏員二名宛招集、市葬參列者に對し左の禮狀を發送した。此數は二千三百九十一通であつた。

拜啓　故大阪市長關一殿市葬ノ節ハ遠路態々御參列被成下御芳情ノ段辱ク奉深謝候先ハ乍略儀以寸楮御厚禮申上度如斯御座候

昭和十年二月一日

大阪市長代理
大阪市助役　加々美武夫　敬具
葬儀委員長
大阪市會議長　川畑清藏

新聞廣告　左の廣告を曩に市葬廣告を掲載したる各新聞紙に掲載して禮意を表した。

御會葬御禮

大阪市長代理
大阪市助役　加々美武夫
葬儀委員長
大阪市會議長　川畑清藏

故關市長卒去に際し、畏き邊りより勳位陞叙並に祭資御下賜の恩命を拜したるに對し、遺族並に本市より一月三十一日湯淺宮內大臣以下關係諸顯官に夫々御禮電報を發し、亦た市葬に際し弔辭或は生花、眞榊等を贈られた岡田內閣總理大臣其他に對し市葬終了後直に本市より御禮電報を發した。

御禮電報

湯淺宮內大臣宛

故大阪市長關一卒去ニ付祭資御下賜ノ光榮ニ浴シ洵ニ感激ノ至リニ不堪謹ミテ御禮申上ケ奉ル

故大阪市長關一卒去ニ付特ニ祭資ノ御下賜ヲ蒙リタルハ獨リ遺族ノミナラズ洵ニ本市ノ光榮ニシテ感激ノ至リニ不堪謹ミテ御禮申上ケ奉ル

遺族　關　秀雄

後藤內務大臣宛

故大阪市長關一卒去ニ際シ勳位陞叙ニ付格別ノ御高配ニ預リ洵ニ感謝ノ至リニ不堪謹ミテ御禮申上ク

大阪市長代理　助役　加々美武夫

大阪市助役
葬儀委員長
大阪市會議長
川畑清藏

遺族關　秀雄

後藤內務大臣宛
下條賞勳局總裁宛
唐澤警保局長宛
故大阪市長關一卒去ニ際シ勳位昇敍ニ付特別ノ御配慮ヲ賜リ洵ニ感謝ノ至リニ不堪謹ミテ御禮申上ク
大阪市長代理　助役　加々美武夫

岡田內閣總理大臣宛
故大阪市長關一葬儀ニ際シ御鄭重ナル御弔詞ヲ辱ウシ厚ク御禮申上ク
大阪市長代理　助役　加々美武夫

後藤內務大臣宛
高橋大藏大臣宛
床次遞信大臣宛
故大阪市長關一葬儀ニ際シ御弔詞並供花ヲ辱ウシ厚ク御禮申上ク
大阪市長代理　助役　加々美武夫

林　陸軍大臣宛

大角海軍大臣宛
內田鐵道大臣宛

大角海軍大臣宛

内田鐵道大臣宛

故大阪市長關一葬儀ニ際シ供花ヲ賜リ厚ク御禮申上ク

大阪市長代理　助役　加々美武夫

今井田朝鮮政務總監宛

葬儀滯リナク終了ス御高配ヲ拜謝ス

大阪市長代理　助役　加々美武夫

供花献榊及弔詞の禮狀

市葬翌日の二月二日供花献榊者五百九名及弔詞贈呈者九十七名に對し供物係庶務班に依つて左記の禮狀を發送した。

弔詞贈呈者への禮狀

肅啓　故大阪市長關一殿市葬ノ節ハ御鄭重ナル御弔詞ヲ賜リ御芳情ノ段辱ク奉深謝候先ハ乍畧儀以寸楮御厚禮申上度如斯御座候　敬具

昭和十年二月二日

大阪市長代理　大阪市助役　加々美武夫

林　陸軍大臣宛

大阪市長代理　助役　加々美武夫

供花献榊者への禮狀

葬儀委員長　大阪市會議長　川畑清藏
遺族副子關秀雄

肅啓　故大阪市長關一殿市葬ノ節ハ御供花ヲ辱ウシ御芳情ノ段奉深謝候先ハ乍畧儀以寸楮御厚禮申上度如斯御座候　敬具

昭和十年二月二日

大阪市長代理　大阪市助役　加々美武夫
葬儀委員長　大阪市會議長　川畑清藏
遺族副子關秀雄

葬儀委員への禮狀

市葬終了後直に各葬儀委員へ左記の禮狀を發送した。

拜啓　故關市長市葬ニ當リテハ葬儀委員トシテ種々御盡力相煩候處以御蔭諸事無滯終了致候段誠ニ難有奉深謝候先ハ右以書中御厚禮申上度如斯御座候　敬具

昭和十年二月二日

大阪市長代理　大阪市助役　加々美武夫
葬儀委員長　大阪市會議長　川畑清藏